

平成 28 年度札幌市の温暖化対策推進に関する調査 結果概要

1 調査実施目的

平成 27 年 3 月に策定した「札幌市温暖化対策推進計画」の進行管理を行うとともに、本計画に基づく施策を効果的に推進していくための基礎的な資料とするため、温暖化に関する市民意識を把握するもの。

2 調査対象

住民基本台帳より無作為抽出された 18 歳～79 歳の市民 3,000 人

3 回答者数

1,208 名 (回収率 40.3%) ※男性 42%、女性 57.3% (無回答 0.7%)
回答者属性の詳細については、別紙中、設問 F (最後) のとおり

4 調査期間

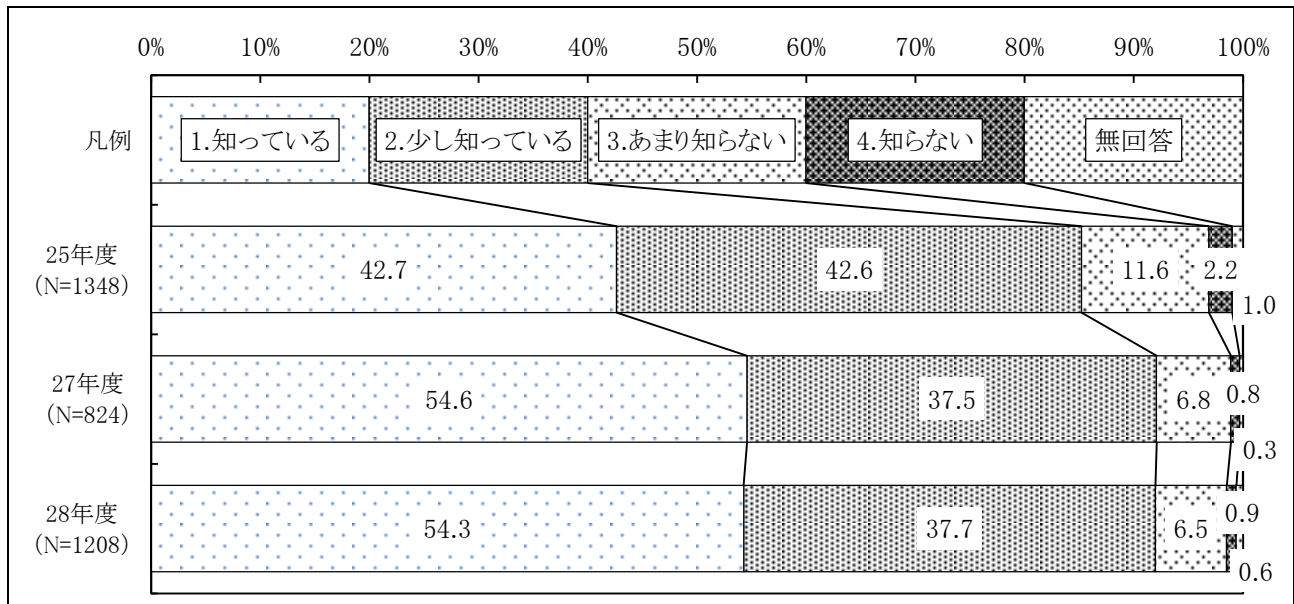
平成 28 年 11 月 22 日 (火) ～12 月 9 日 (金)

5 結果概要

次ページ以降のとおり

■温暖化の進行による影響の認知度

問1 猛暑日や集中豪雨の増加、強大な竜巻の発生といったさまざまな異常気象は、地球温暖化が主な原因となって引き起こされていると言われていています。あなたは、このような地球温暖化の進行による影響について、知っていますか。次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください。



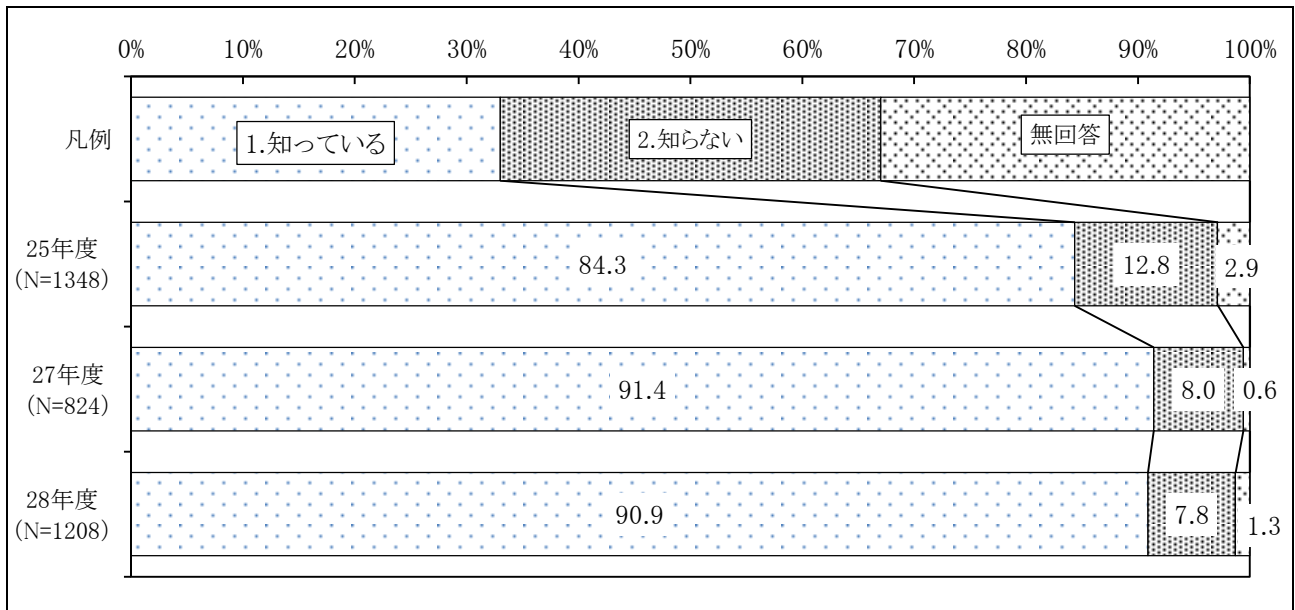
地球温暖化の進行による影響について、「知っている」と回答した人は25年度では42.7%、27年度では54.6%、28年度では54.3%となった。次いで、「少し知っている」と回答した人では25年度では42.6%、27年度では37.5%、28年度では37.7%となった。「知っている」「少し知っている」を合わせた“知っている”は25年度では85.3%、27年度では92.1%、28年度では92%となった。

一方、25年度の「あまり知らない」と、「知らない」を合わせた“知らない”は13.8%となり27年度では7.6%、28年度では7.4%と僅かながら減少した。

地球温暖化の進行による影響について、「知っている」と「少し知っている」を合わせた“知っている”は25年度から6.7ポイント増加し92%となった。

■温暖化の原因（二酸化炭素濃度の上昇）の認知度

問2 あなたは、地球温暖化の主な原因が、「大気中の二酸化炭素濃度の上昇」であることを知っていますか。次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください。



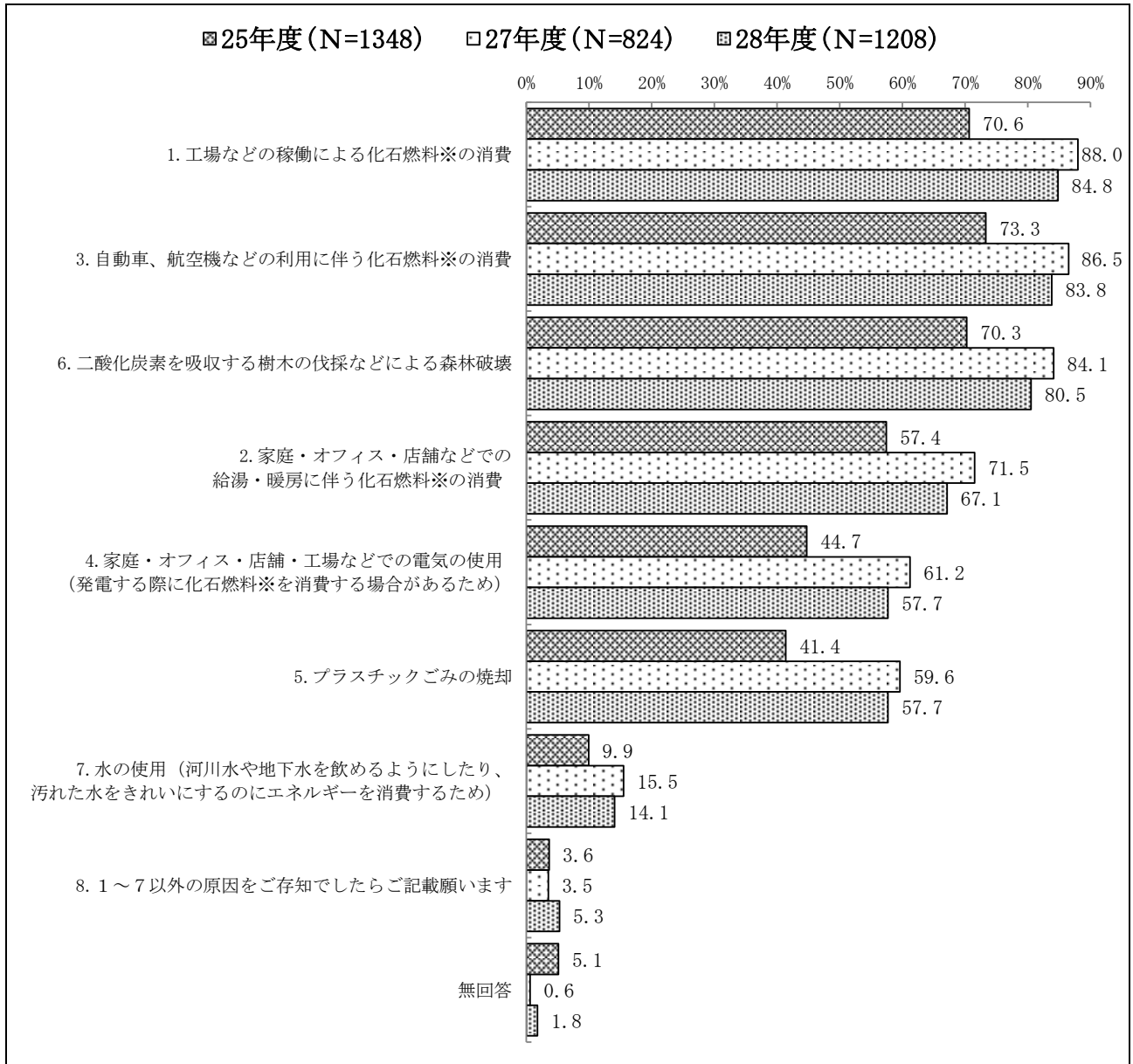
地球温暖化の主な原因が『二酸化炭素濃度の上昇』であることの認知度について、「知っている」は27年度から28年度では殆ど変化はないが90.9%と高い数字になっている。

一方で、「知らない」は、25年度の12.8%から、27年度が8%、28年度が7.8%と、約5ポイント減少した。

地球温暖化の主な原因が『二酸化炭素濃度の上昇』であることの認知度は、「知っている」が27、28年度で9割以上。

■二酸化炭素濃度上昇の原因の認知度

問3 大気中の二酸化炭素濃度は、次に示すようなことが主な原因となって上昇してまいります。次の中から、あなたが知っているものにいくつでも○をつけてください。



※化石燃料：石油、石炭、天然ガス、灯油、ガソリンなど

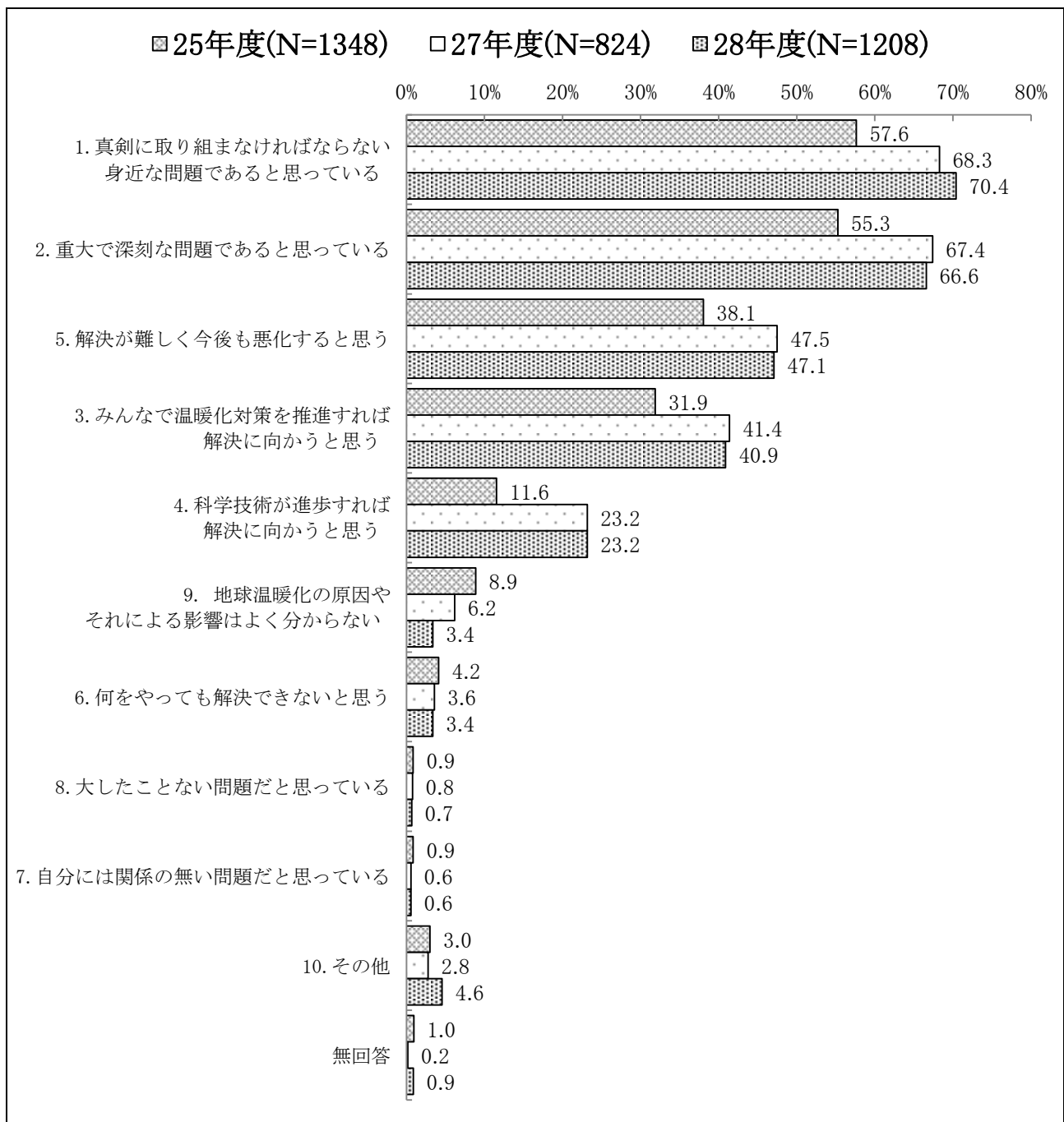
二酸化炭素濃度上昇の原因について、「工場などの稼働による化石燃料の消費」が84.8%と最も高く、次いで「自動車、航空機などの利用に伴う化石燃料の消費」が83.8%となっている。

各項目とも、27年度からは微減となっているが、25年度からは大きく増加している。

二酸化炭素濃度上昇の原因として知っているものは、「工場などの稼働による化石燃料の消費」が84.8%。

■温暖化問題の把握

問4 あなたは、地球温暖化問題をどのようにとらえていますか。次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。



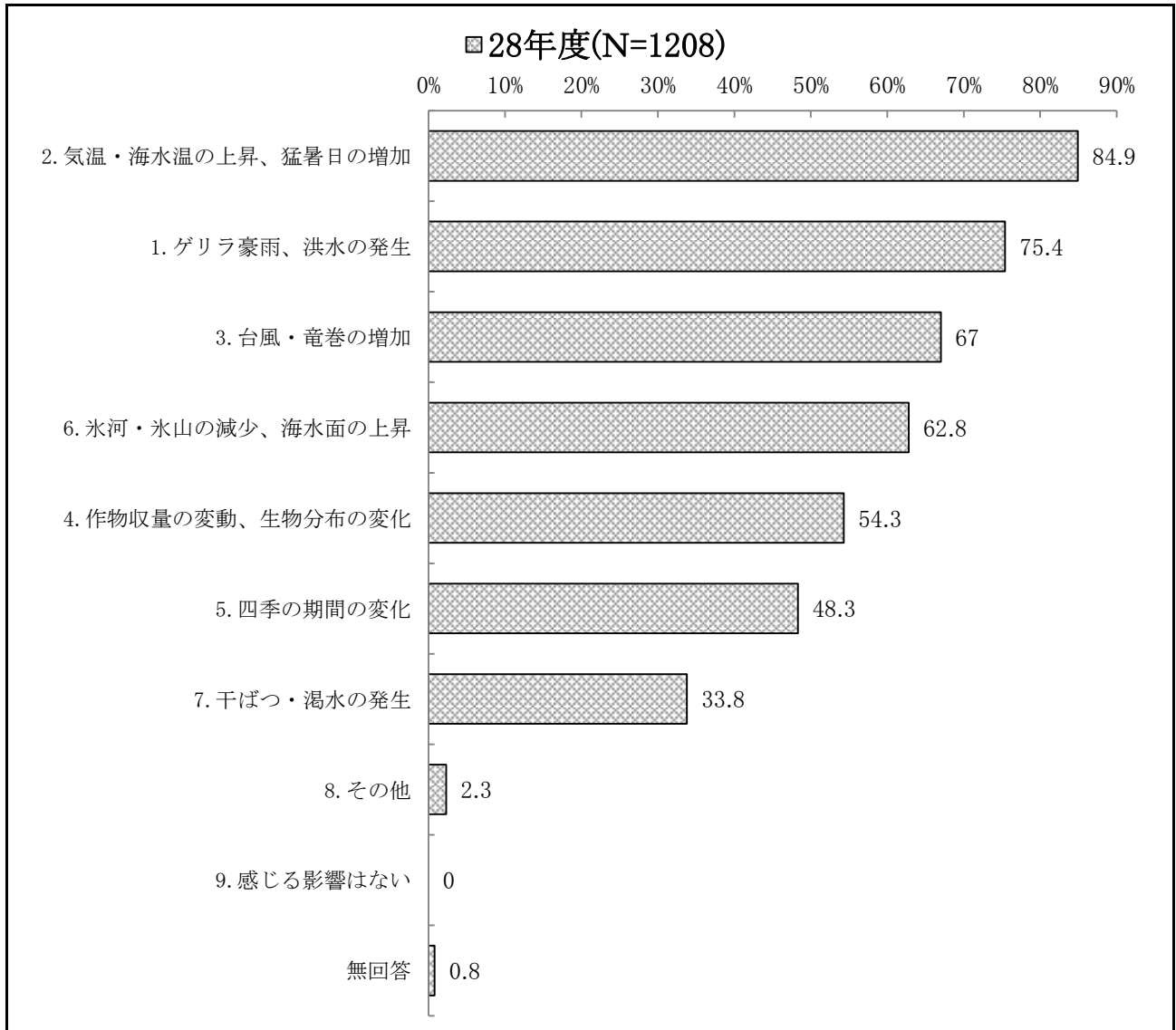
温暖化については、「真剣に取り組まなければならない身近な問題であると思っている」「重大で深刻な問題であると思っている」が60%以上と高い数字となっており、増加傾向にある。

一方、「地球温暖化の原因やそれによる影響はよく分からない」は3.4%と25年度の8.9%から年々減少している。

温暖化については、「真剣に取り組まなければならない身近な問題であると思っている」が70.4%と最も高くなった。

■私たちが感じる温暖化の影響

問5の1 地球温暖化による影響は、既に現れていると言われてはいますが、あなたが感じる影響はありますか。次の中から、あてはまるものにもいくつか○をつけてください。



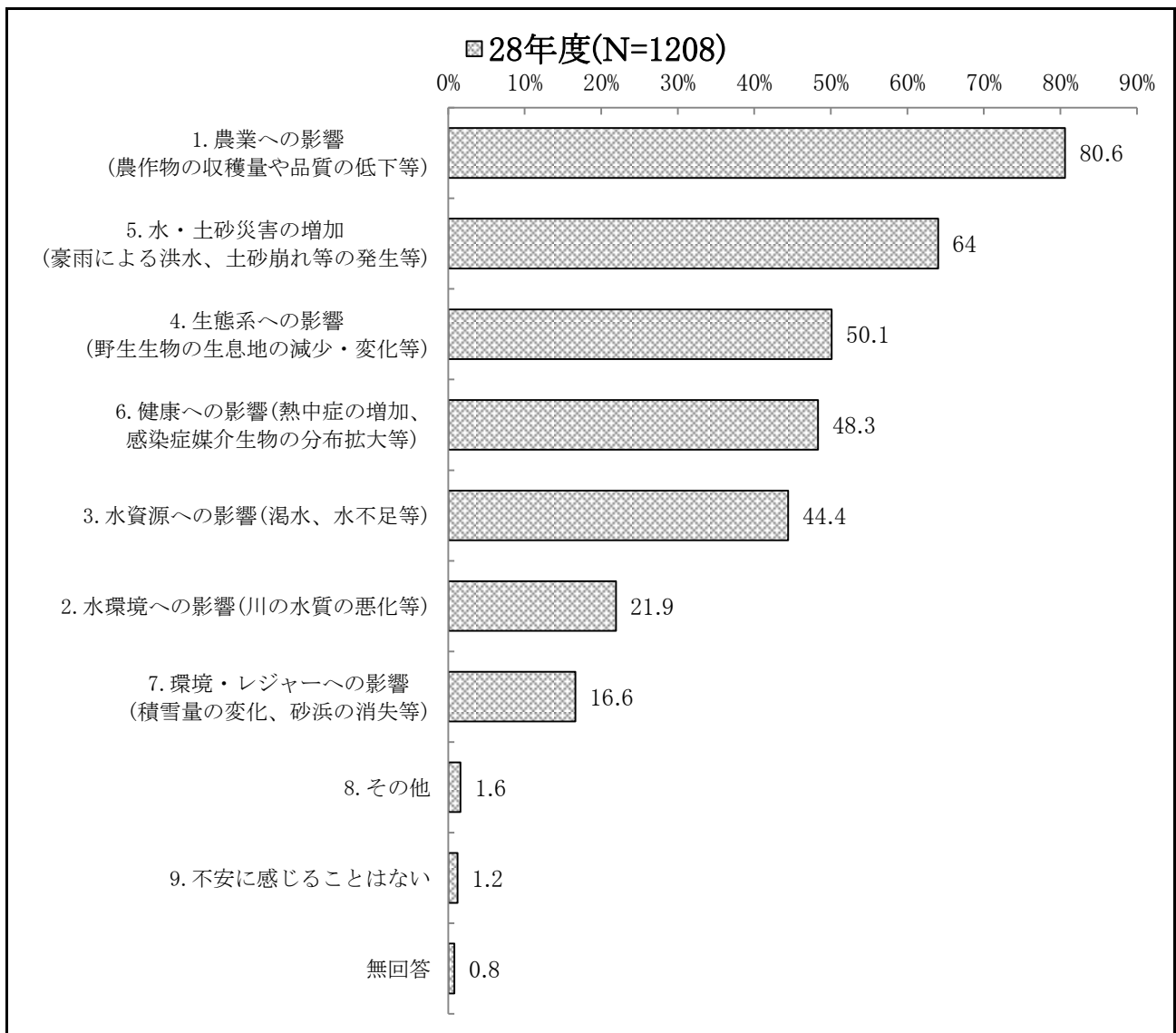
※28年度からの新項目の為比較なし

私たちが感じる温暖化の影響については、「気温・海水温の上昇、猛暑日の増加」が84.9%と第1位となり、次いで「ゲリラ豪雨、洪水の発生」「台風・竜巻の増加」となっている。

私たちが感じる温暖化の影響については、「気温・海水温の上昇、猛暑日の増加」が84.9%と最も高くなった。

■不安に感じる温暖化による生活への影響

問5の2 地球温暖化が私たちの生活に及ぼす影響で、あなたが不安に感じるものは何ですか。次の中から、あてはまるもの3つに○をつけてください。



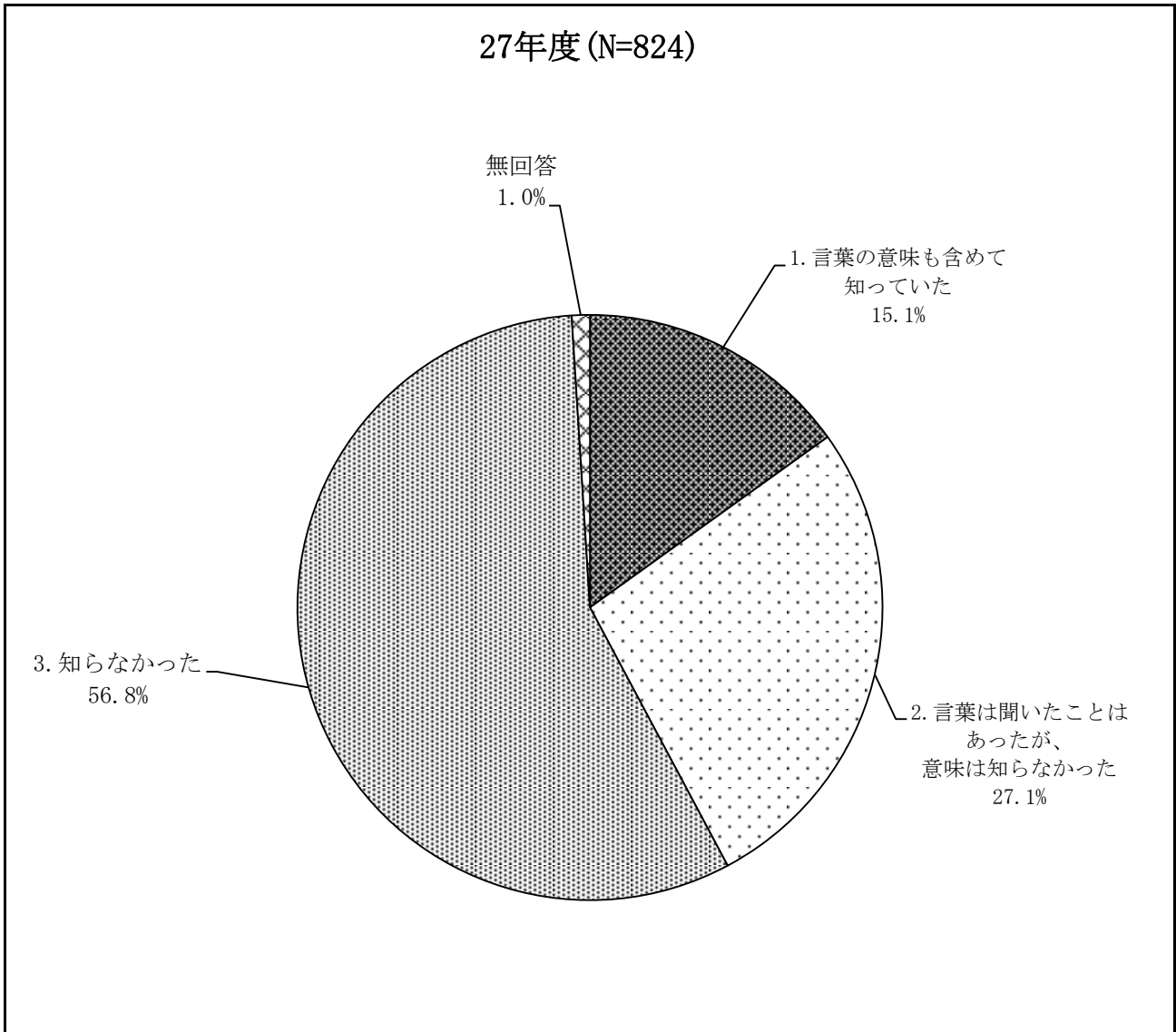
※28年度からの新項目の為比較なし

不安に感じる温暖化による生活への影響については、「農業への影響(農作物の収穫量や品質の低下等)」が80.6%と第1位となり、次いで「水・土砂災害の増加(豪雨による洪水、土砂崩れ等の発生等)」「生態系への影響(野生生物の生息地の減少・変化等)」となっている。

不安に感じる温暖化による生活への影響については、「農業への影響(農作物の収穫量や品質の低下等)」が80.6%と最も高くなった。

■ “適応策” の認知度

問5の3 地球温暖化による影響に対応し、被害を軽減することを、温暖化対策における「適応策」と言いますが、あなたはこの「適応策」という言葉を知っていましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



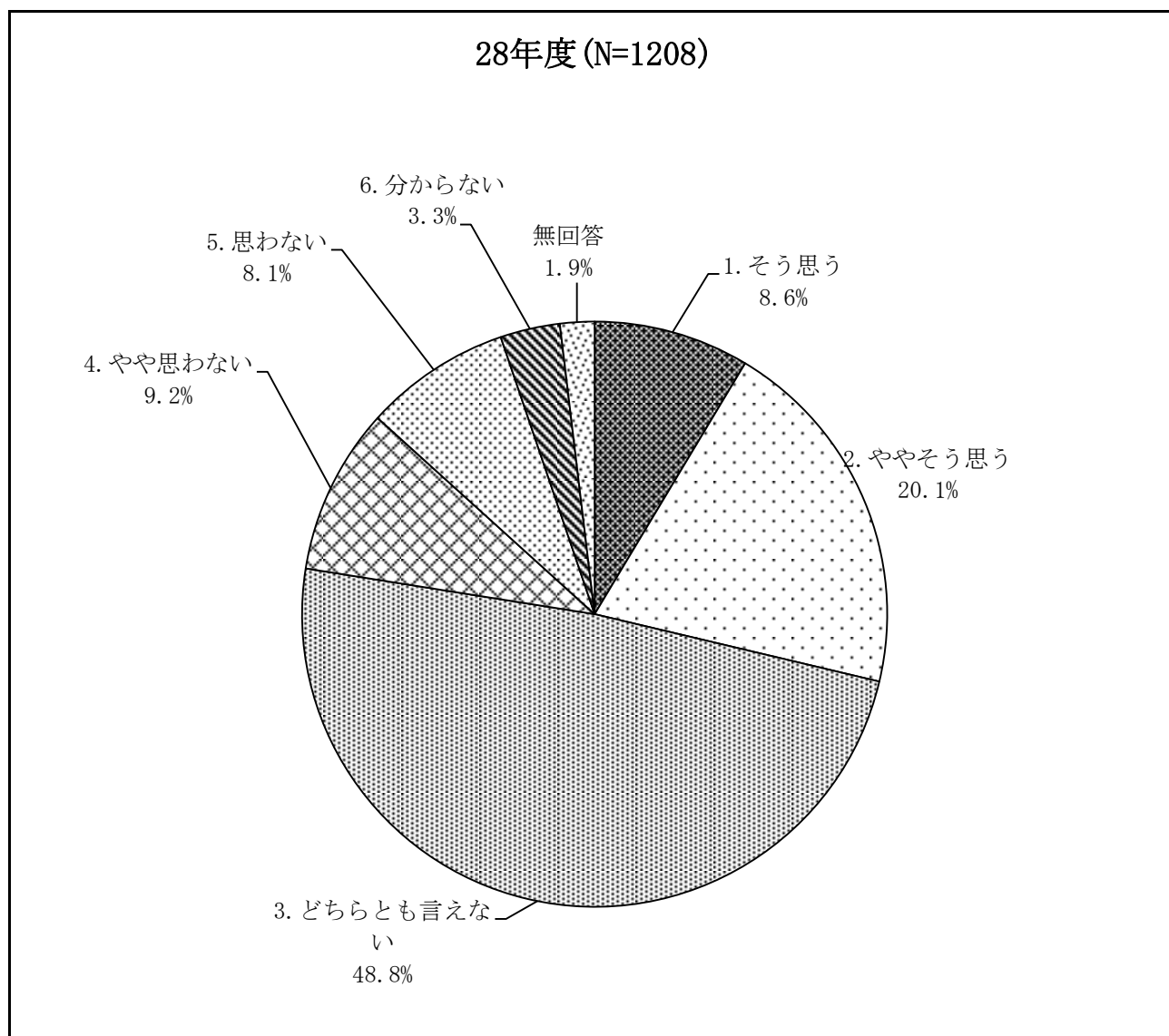
※28年度からの新項目の為比較なし

“適応策”の認知度については、「知らなかった」が56.8%で最も高くなっている。一方「言葉は聞いたことはあったが、意味は知らなかった」が27.1%、「言葉の意味も含めて知っていた」が15.1%となっている。

“適応策”の認知度について、「言葉の意味も含めて知っていた」が15.1%

■自身のライフスタイル

問6の1 あなたの生活はエコライフ（環境に優しい生活）だと思いますか。次の中から、あてはまる数字1つに○をつけてください。



※28年度からの新項目の為比較なし

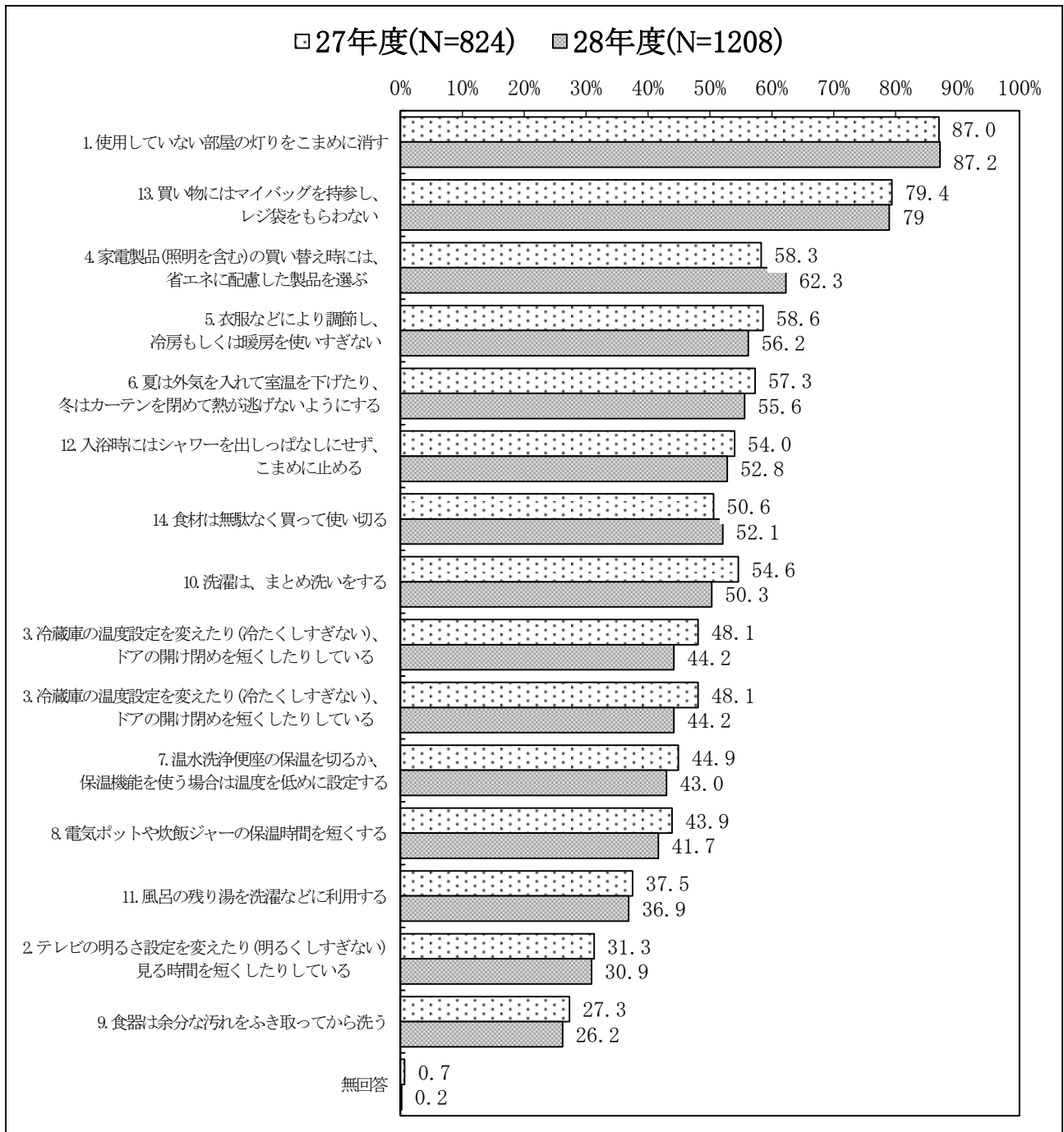
自身のライフスタイル（エコライフかどうか）については、「どちらとも言えない」が48.8%で最も高くなっている。

一方「ややそう思う」が20.1%、「ややそう思わない」が9.2%となっている。

自身のライフスタイル（エコライフかどうか）について、「どちらとも言えない」が48.8%

■実践しているエコライフの取組

問6の2 あなたが常に実践しているエコライフ（環境に優しい生活）の取り組みはありますか。次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

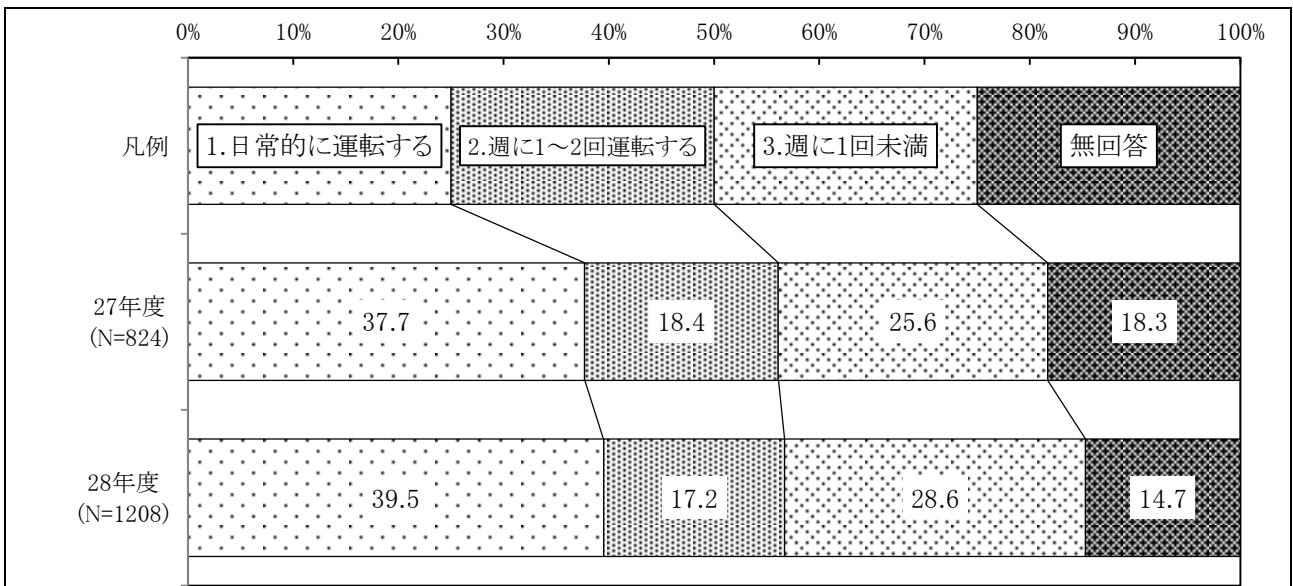


実践しているエコライフの取組については、「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が87.2%で最も高く、次いで「買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋をもらわない」が79%となっている。また、「家電製品(照明を含む)の買い替え時には、省エネに配慮した製品を選ぶ」が27年度よりも4ポイント増えた。

実践しているエコライフの取組については、「使用していない部屋の灯りをこまめに消す」が87.2%。

■自動車の運転頻度

問7の1 あなたはどの程度自動車を運転しますか。
次の中からあてはまるもの 1つ ○をつけて下さい。



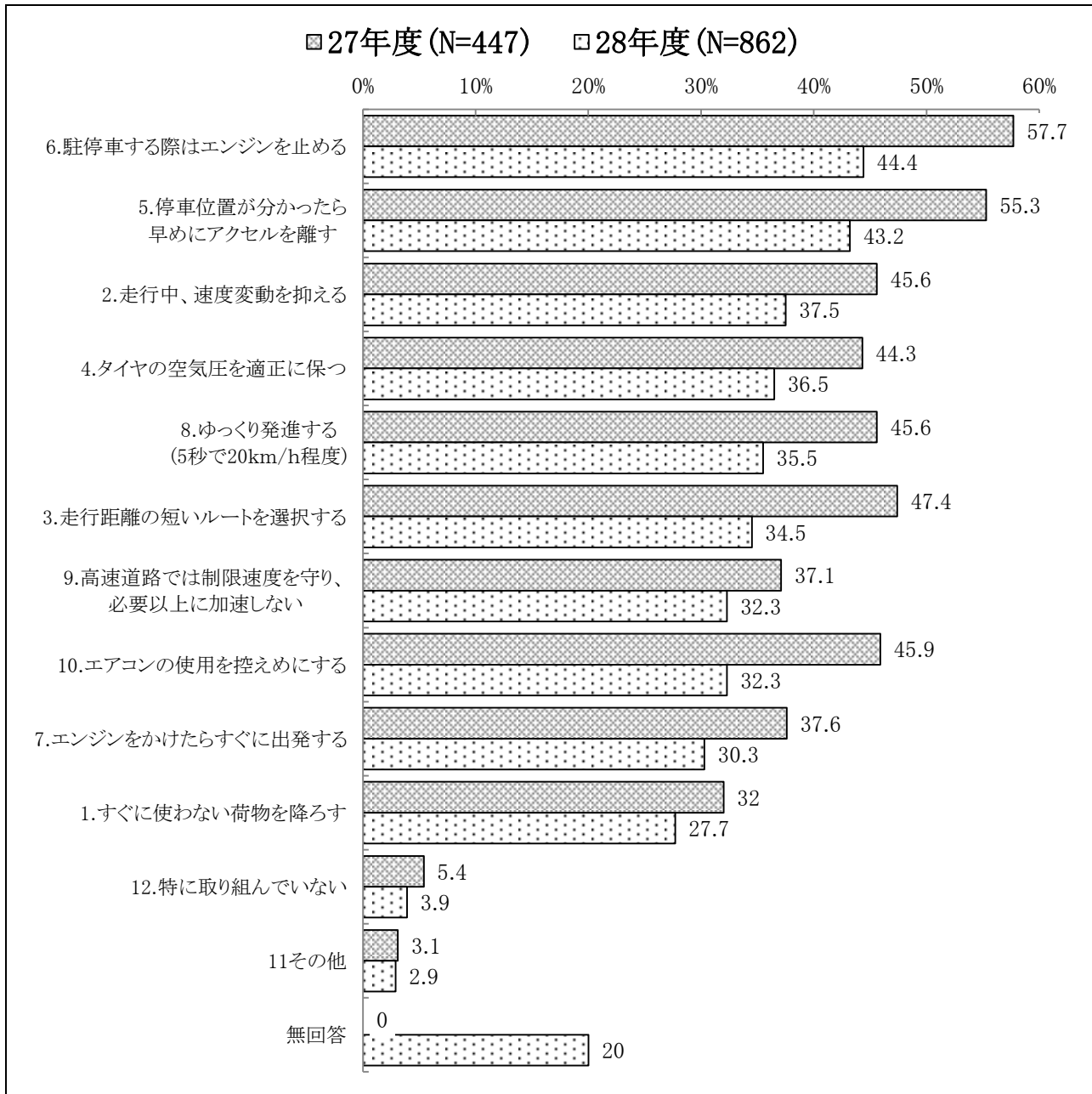
自動車の運転頻度について、「日常的に運転する」が39.5%で、27年度の37.7%から1.8ポイントの微増となった。次いで「週に1回未満」が28.6%と、27年度の25.6%から3ポイントの増加となっている。全体の56.9%が週に1回以上自動車を運転しているという結果となった。

自動車の運転頻度について、週に1回以上が56.9%。

■実施しているエコドライブの取組

《問7の1で1又は2と答えた方にお聞きします》

問7の2 あなたが運転する際に実施しているエコドライブの取組はありますか。
次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。



実施しているエコドライブの取組について、「駐停車する際はエンジンを止める」が44.4%と最も高くなっており、次いで「停車位置がわかったら早めにアクセルを離す」が43.2%となっている。また、27年度では7位だった「タイヤの空気圧を適正に保つ」が4位に上昇した一方、27年度では第3位であった「走行距離の短いルートを選択する」が6位に下降した。

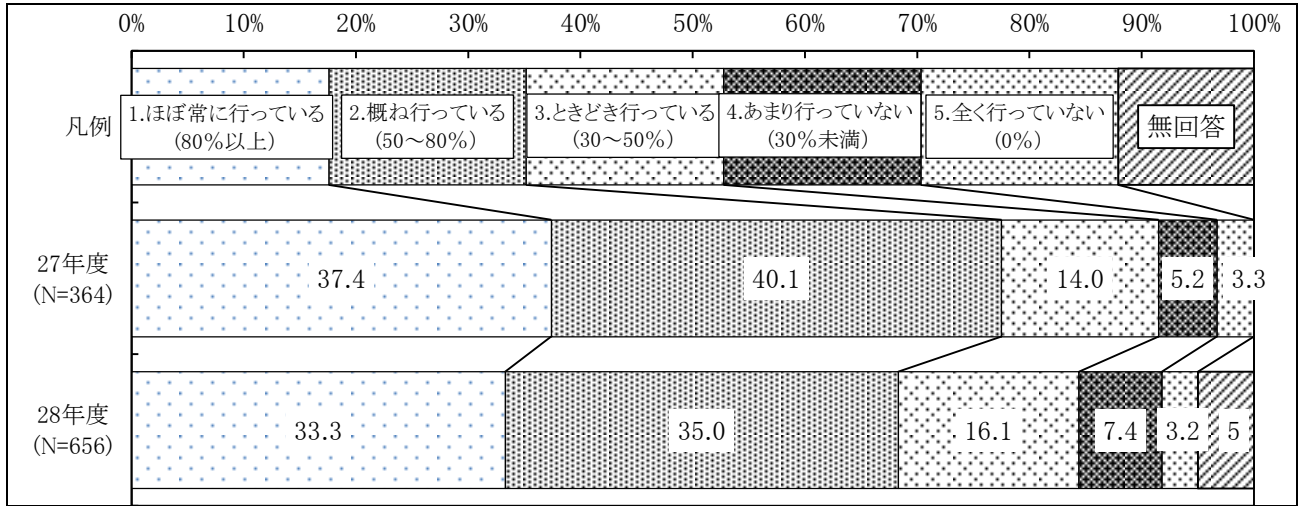
※28年度は無回答が多いことから相対的に各項目の回答率が低くなっている

実施しているエコドライブの取組について「駐停車する際はエンジンを止める」が44.4%。

■実施しているエコドライブの頻度

《問7の1で1又は2と答えた方にお聞きします》

問7の3 あなたが運転する際に実施しているエコドライブの頻度はどのくらいですか。
次の中からあてはまるものに1つ○をしてください。



実施しているエコドライブの頻度について、「概ね行っている(50~80%)」が 35%と最も高くなっており、次いで「ほぼ常に行っている(80%以上)」が 33.3%で、これらを合わせると 68.3%となっている。

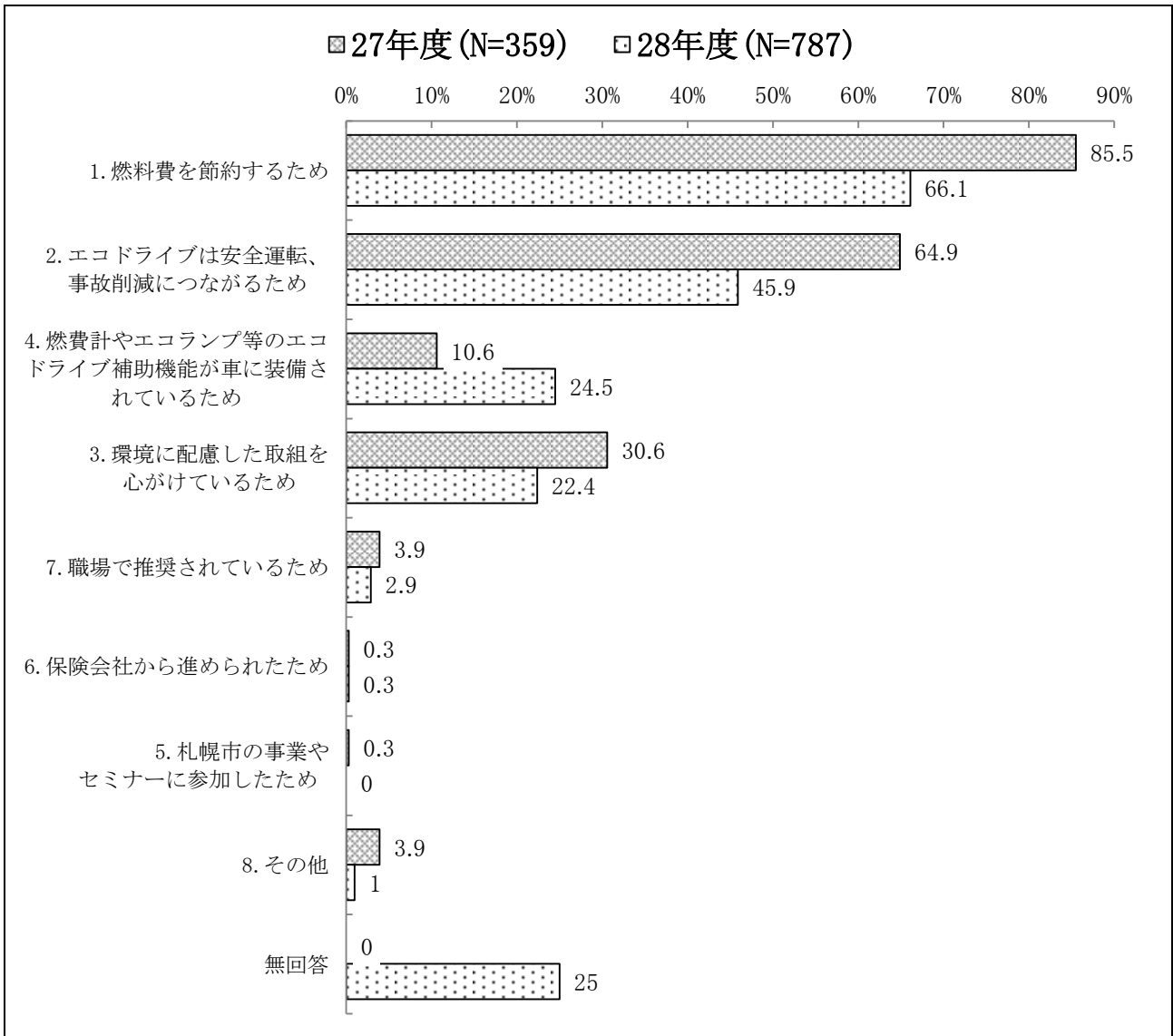
※27年度の調査は2月に実施したこともあり、積雪の為自ずと慎重な運転を心掛けたことで、本調査におけるエコドライブの実践率が高くなったという可能性も否定できない。

実施しているエコドライブの頻度について、「ほぼ常に行っている(80%以上)」と「概ね行っている(50~80%)」を合わせた“行っている”が 68.3%。

■エコドライブに取り組んでいる理由

《7の3で1～3と答えた方にお聞きします》

問7の4 あなたがエコドライブに取り組んでいる理由・きっかけは何ですか。
次の中から、あてはまるものいくつでも○をつけてください。



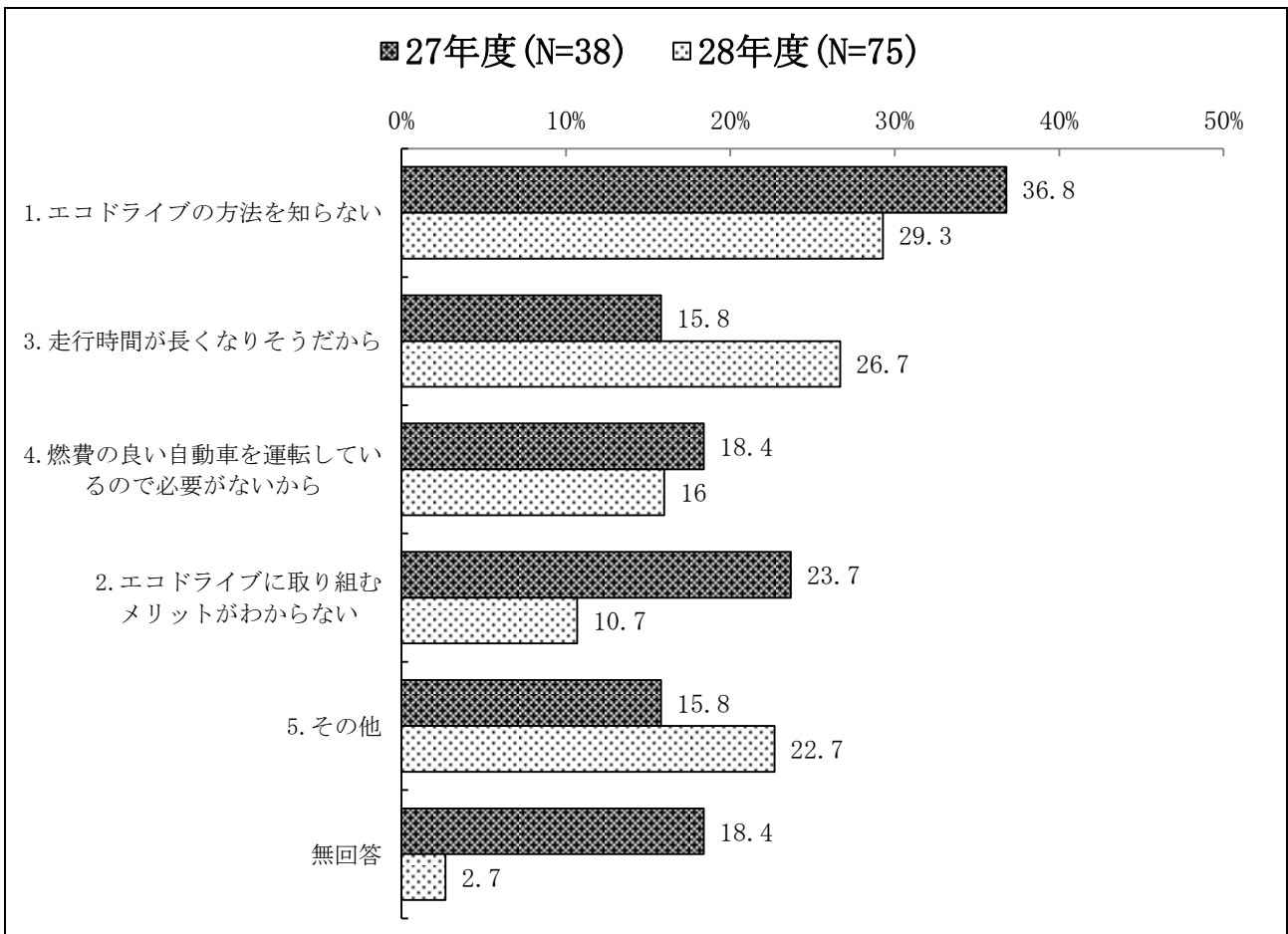
エコドライブに取り組んでいる理由・きっかけについて、「燃料費を節約するため」が66.1%と最も高くなっており、次いで「エコドライブは安全運転、事故削減につながるため」が45.9%となっている。また、「燃費計やエコドライブ等のエコドライブ補助機能が車に装備されているため」が24.5%と、27年度より13.9ポイント増加している。

エコドライブに取り組んでいる理由・きっかけについて、「燃料費を節約するため」が66.1%。

■エコドライブにあまり取り組まない理由

《問7の3で4～5と答えた方にお聞きします》

問7の5 あなたがエコドライブにあまり取り組まない理由は何ですか。
次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

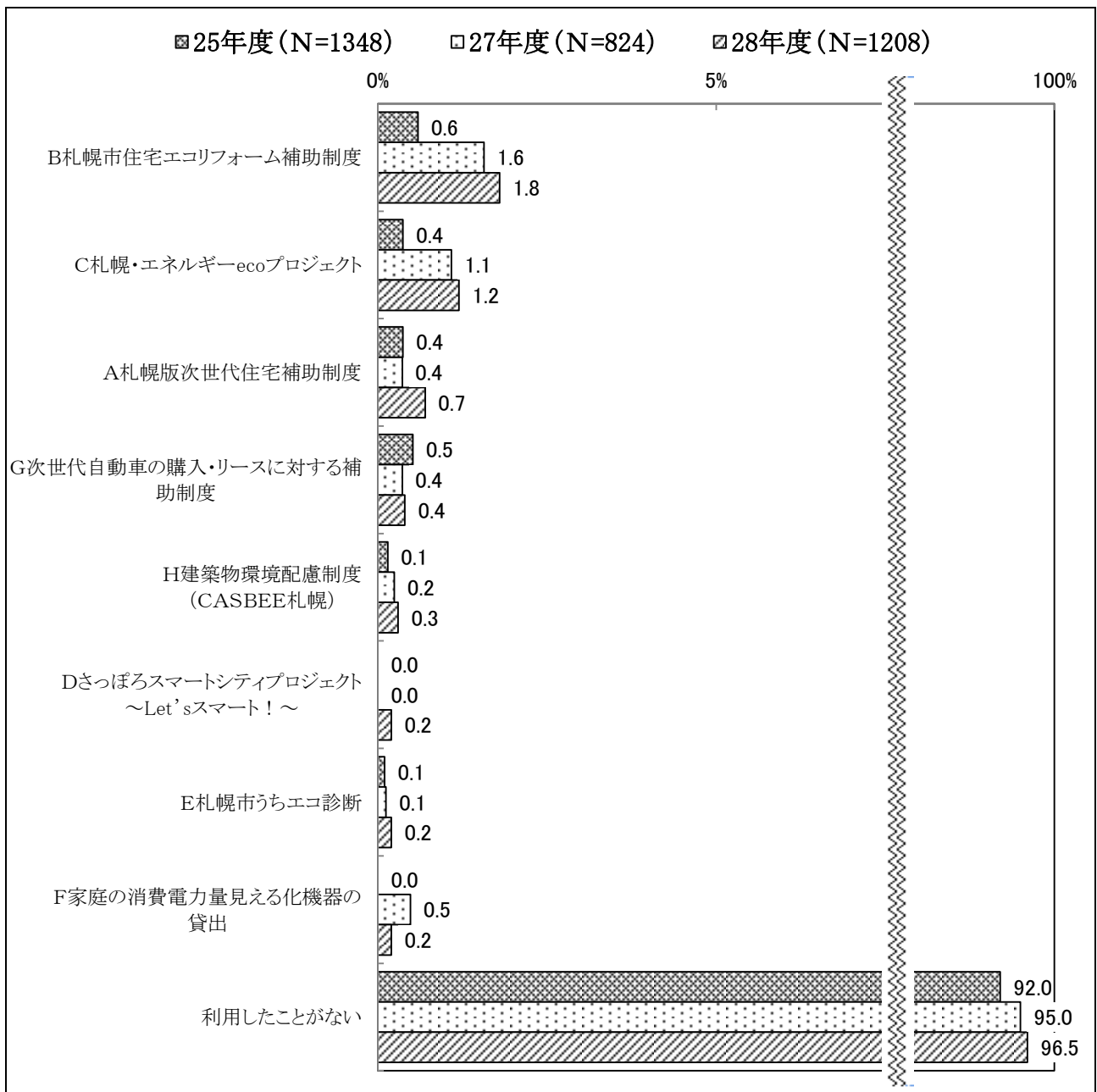


エコドライブにあまり取り組まない理由について、「エコドライブの方法を知らない」が29.3%と最も高かったが、27年度より7.5ポイント減少した。また、「走行時間が長くなりそうだから」については27年度では15.8%で4位であったが、28年度では26.7%と10.9ポイント増加し、2位となった。

エコドライブにあまり取り組まない理由について、「エコドライブの方法を知らない」が29.3%。

■札幌市が実施している温暖化対策の利用度合い

問8 札幌市が現在実施しているエネルギー関連の主な温暖化対策について、参加・利用したことがあるものについて、あてはまるものに○をつけてください。



※「さっぽろスマートシティプロジェクト」「家庭の消費電力量見える化機器の貸出」は27年度新項目

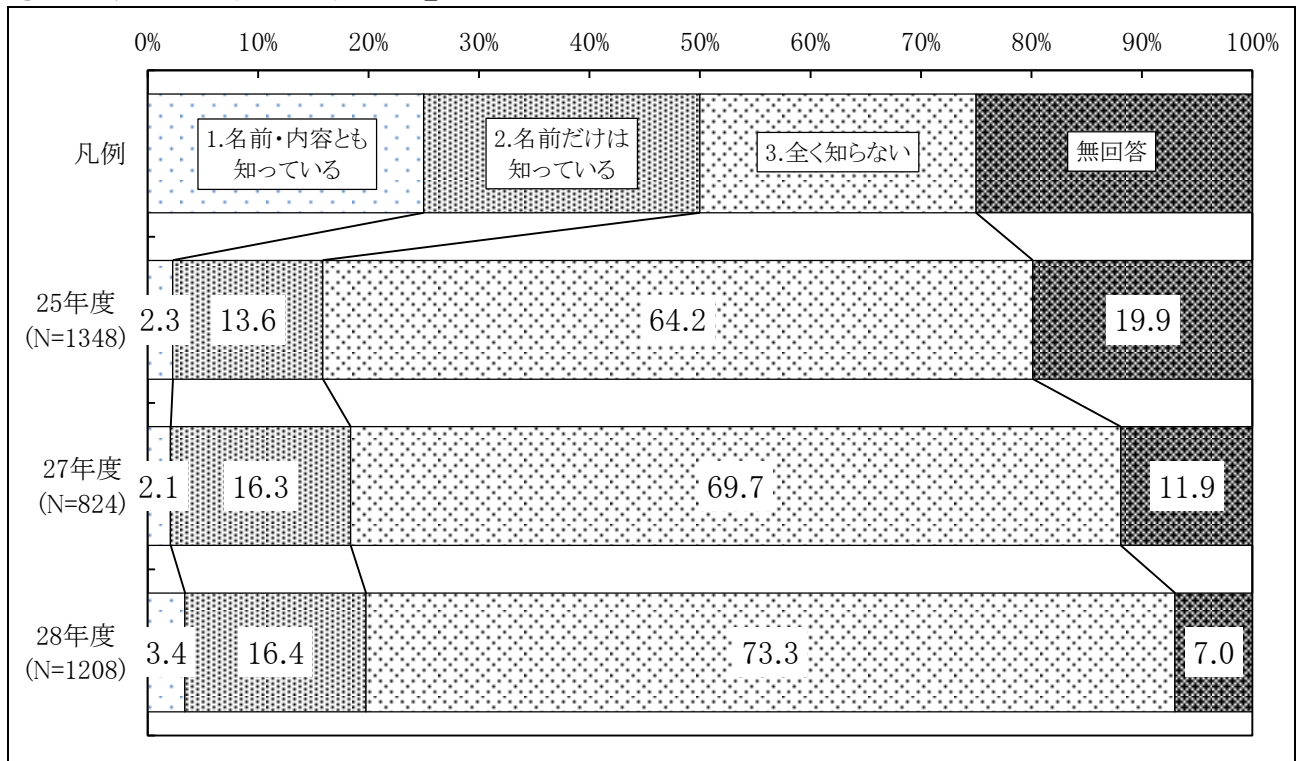
札幌市が実施している温暖化対策の利用度合いは、全体的に回答数が少ないながらも「札幌市住宅エコリフォーム補助制度」が27年度の1.6%から0.2ポイント増加して1.8%で最も高くなっている。次いで、「札幌・エネルギーecoプロジェクト」が1.1%から0.1ポイント増加し1.2%となっており、以下は、「札幌版次世代住宅補助制度」が0.7%となっている。

札幌市が実施している温暖化対策の利用度合いは、「札幌市住宅エコリフォーム補助制度」が1.8%。

■ 『札幌版次世代住宅補助制度』の認知度

問8 (A) 札幌市が現在実施しているエネルギー関連の主な温暖化対策について、知っていますか。あてはまるものに○をつけてください。

『札幌版次世代住宅補助制度』



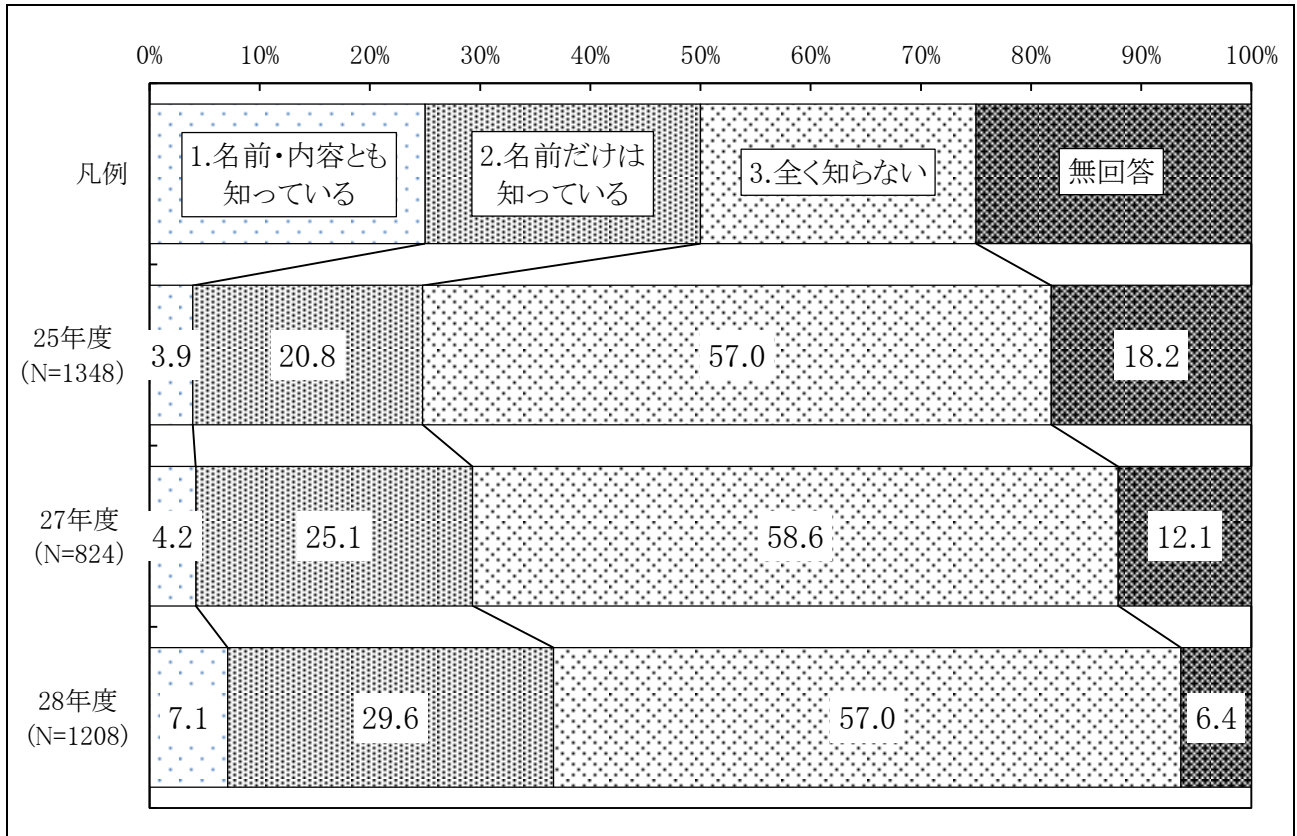
『札幌版次世代住宅補助制度』については、「名前・内容とも知っている」が3.4%と、25年の2.3%から1.1ポイント増加している。また、「名前だけは知っている」が16.4%と25年の13.6%から2.8ポイント増加している。

『札幌版次世代住宅補助制度』について、「名前・内容とも知っている」と「名前だけは知っている」を合わせた“知っている”は25年度から3.9ポイント増加し19.8%となった。

■ 『札幌市住宅エコリフォーム補助制度』の認知度

問8 (B) 札幌市が現在実施しているエネルギー関連の主な温暖化対策について、知っていますか。あてはまるものに○をつけてください。

『札幌市住宅エコリフォーム補助制度』



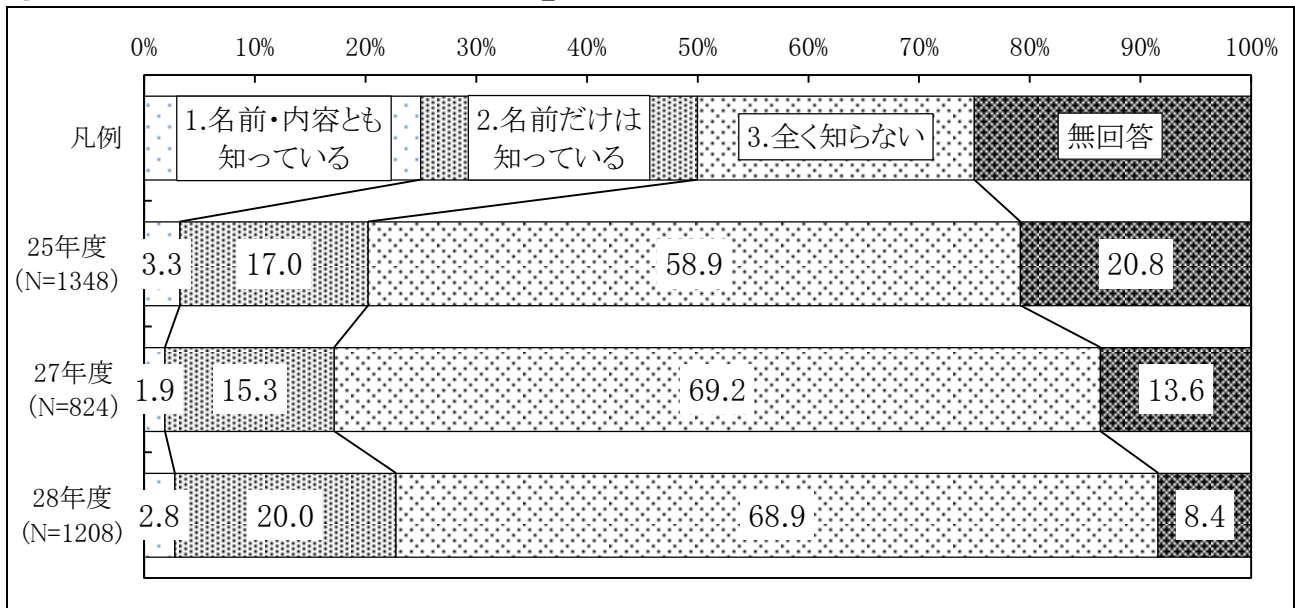
『札幌市住宅エコリフォーム補助制度』については、「名前・内容とも知っている」が7.1%と、25年の3.9%から3.2ポイント増加している。また、「名前だけは知っている」が29.6%と25年の20.8%から8.8ポイント増加している。

『札幌市住宅エコリフォーム補助制度』について、「名前・内容とも知っている」と「名前だけは知っている」を合わせた“知っている”は25年度から12ポイント増加し36.7%となった。

■ 『札幌・エネルギーeco プロジェクト』の認知度

問8 (C) 札幌市が現在実施しているエネルギー関連の主な温暖化対策について、知っていますか。あてはまるものに○をつけてください。

『札幌・エネルギーeco プロジェクト』



『札幌・エネルギーeco プロジェクト』について、「名前・内容とも知っている」が2.8%と、27年度の1.9%より0.9ポイント増加しているものの、25年度の3.3%より0.5%減少している。

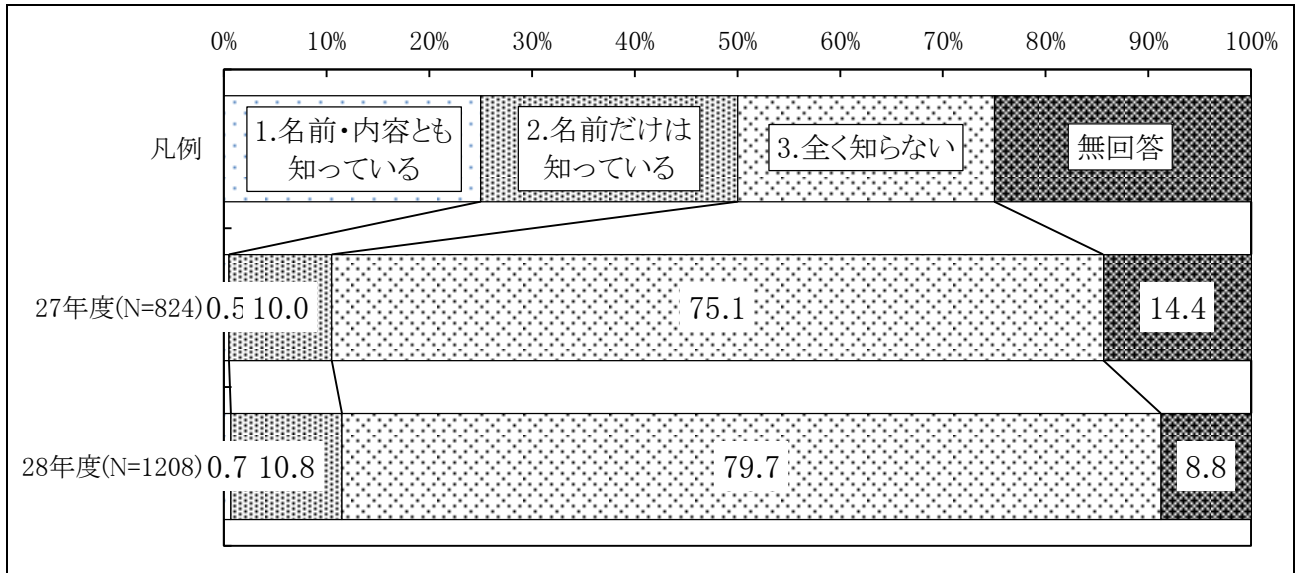
一方、「名前だけは知っている」は17%と、25年度の17%より3ポイント増加している。

『札幌・エネルギーeco プロジェクト』について、「名前・内容とも知っている」と「名前だけは知っている」を合わせた“知っている”は25年度から2.5ポイント増加し22.8%となった。

■ 『さっぽろスマートシティプロジェクト』の認知度

問8 (D) 札幌市が現在実施しているエネルギー関連の主な温暖化対策について、知っていますか。あてはまるものに○をつけてください。

『さっぽろスマートシティプロジェクト～Let's スマート!～』



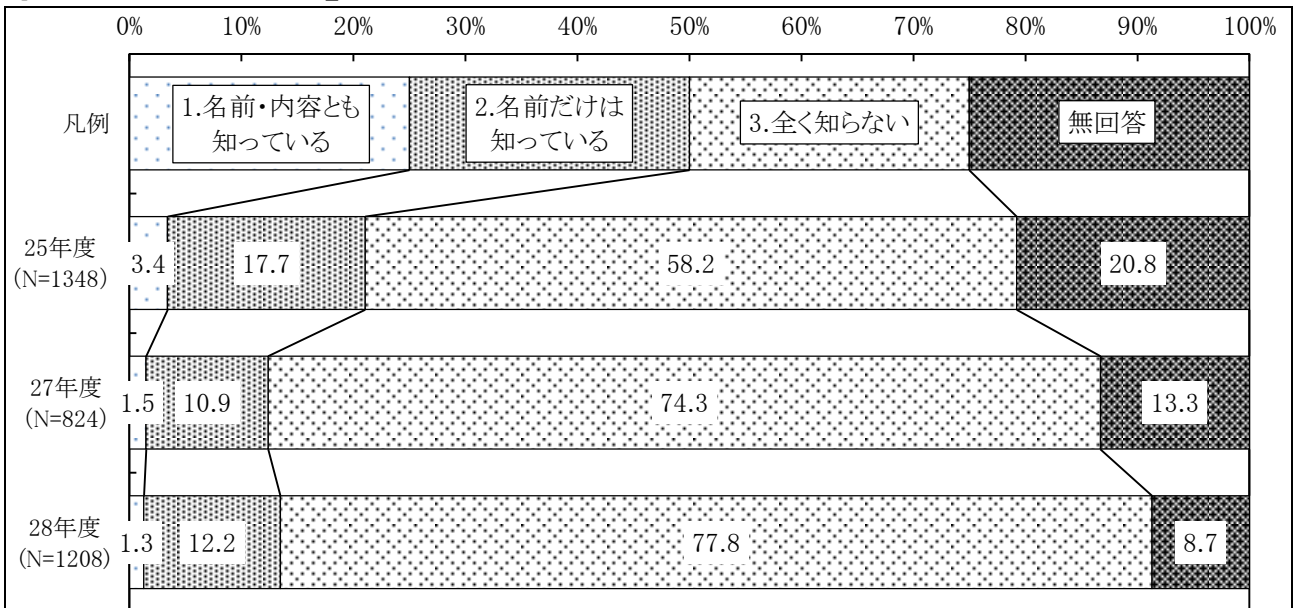
『さっぽろスマートシティプロジェクト』について、「名前・内容とも知っている」が0.7%と、27年度の0.5%より0.2ポイント増加している。また、「名前だけは知っている」は10.8%と、27年度の10%より0.8ポイント増加している。

『さっぽろスマートシティプロジェクト』について、「名前・内容とも知っている」と「名前だけは知っている」を合わせた“知っている”は27年度から1ポイント増加し11.5%となった。

■ 『札幌市うちエコ診断』の認知度

問8 (E) 札幌市が現在実施しているエネルギー関連の主な温暖化対策について、知っていますか。あてはまるものに○をつけてください。

『札幌市うちエコ診断』



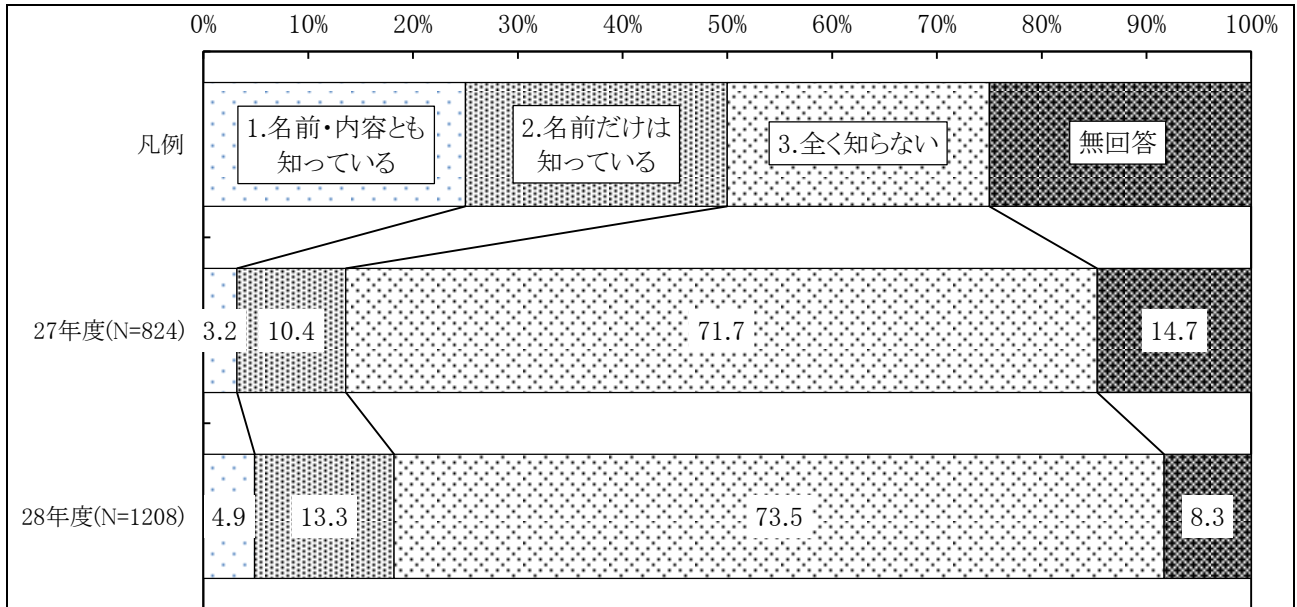
『札幌市うちエコ診断』について、「名前・内容とも知っている」が1.3%と、25年度の3.4%より2.1ポイント減少している。また、「名前だけは知っている」は12.2%と、25年度の17.7%より5.5ポイント減少している。

『札幌市うちエコ診断』について、「名前・内容とも知っている」と「名前だけは知っている」を合わせた“知っている”は25年度から7.6ポイント減少し13.5%となった。

■ 『家庭の消費電力量見える化機器の貸出』 の認知度

問 8 (F) 札幌市が現在実施しているエネルギー関連の主な温暖化対策について、知っていますか。あてはまるものに○をつけてください。

『家庭の消費電力量見える化機器の貸出』



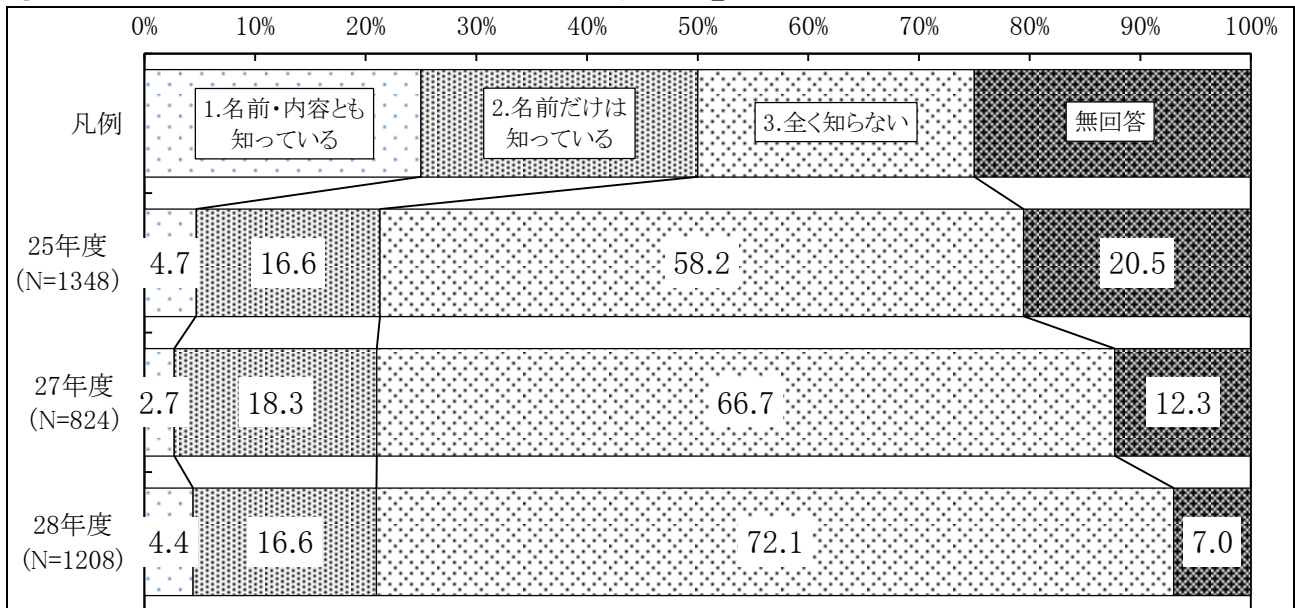
『電力の見える化機器貸出事業』について、「名前・内容とも知っている」が4.9%と、27年度の3.2%より1.7ポイント増加している。また、「名前だけは知っている」は13.3%と、27年度の10.4%より2.9ポイント増加している。

『電力の見える化機器貸出事業』について、「名前・内容とも知っている」と「名前だけは知っている」を合わせた“知っている”は27年度から4.6ポイント増加し18.2%となった。

■ 『次世代自動車の購入・リースに対する補助制度』 の認知度

問 8 (G) 札幌市が現在実施しているエネルギー関連の主な温暖化対策について、知っていますか。あてはまるものに○をつけてください。

『次世代自動車の購入・リースに対する補助制度』



『次世代自動車の購入・リースに対する補助制度』については、「名前・内容とも知っている」と「名前だけは知っている」のいずれも、25年度から大きな変化は見られない。

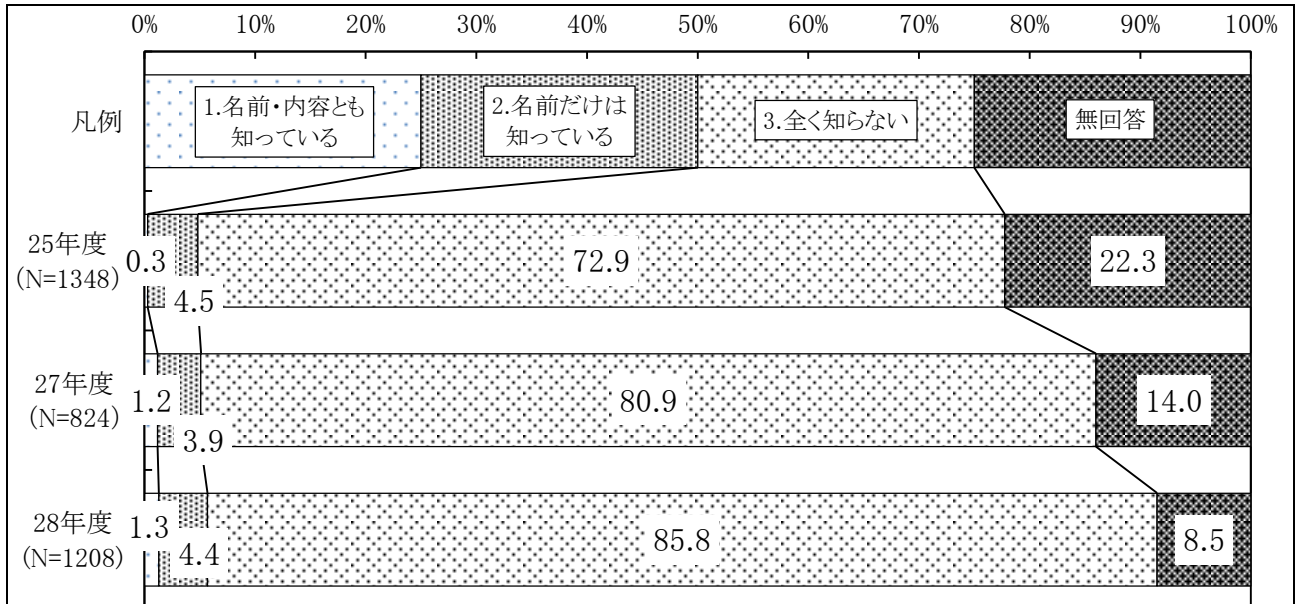
一方、27年度と比較すると、「名前・内容とも知っている」が1.7ポイント増加している。

『次世代自動車の購入・リースに対する補助制度』について、「名前・内容とも知っている」と「名前だけは知っている」を合わせた“知っている”は25年度から大きな変化は見られない。

■『建築物環境配慮制度（CASBEE札幌）』の認知度

問8（H） 札幌市が現在実施しているエネルギー関連の主な温暖化対策について、知っていますか。あてはまるものに○をつけてください。

『建築物環境配慮制度（CASBEE札幌）』



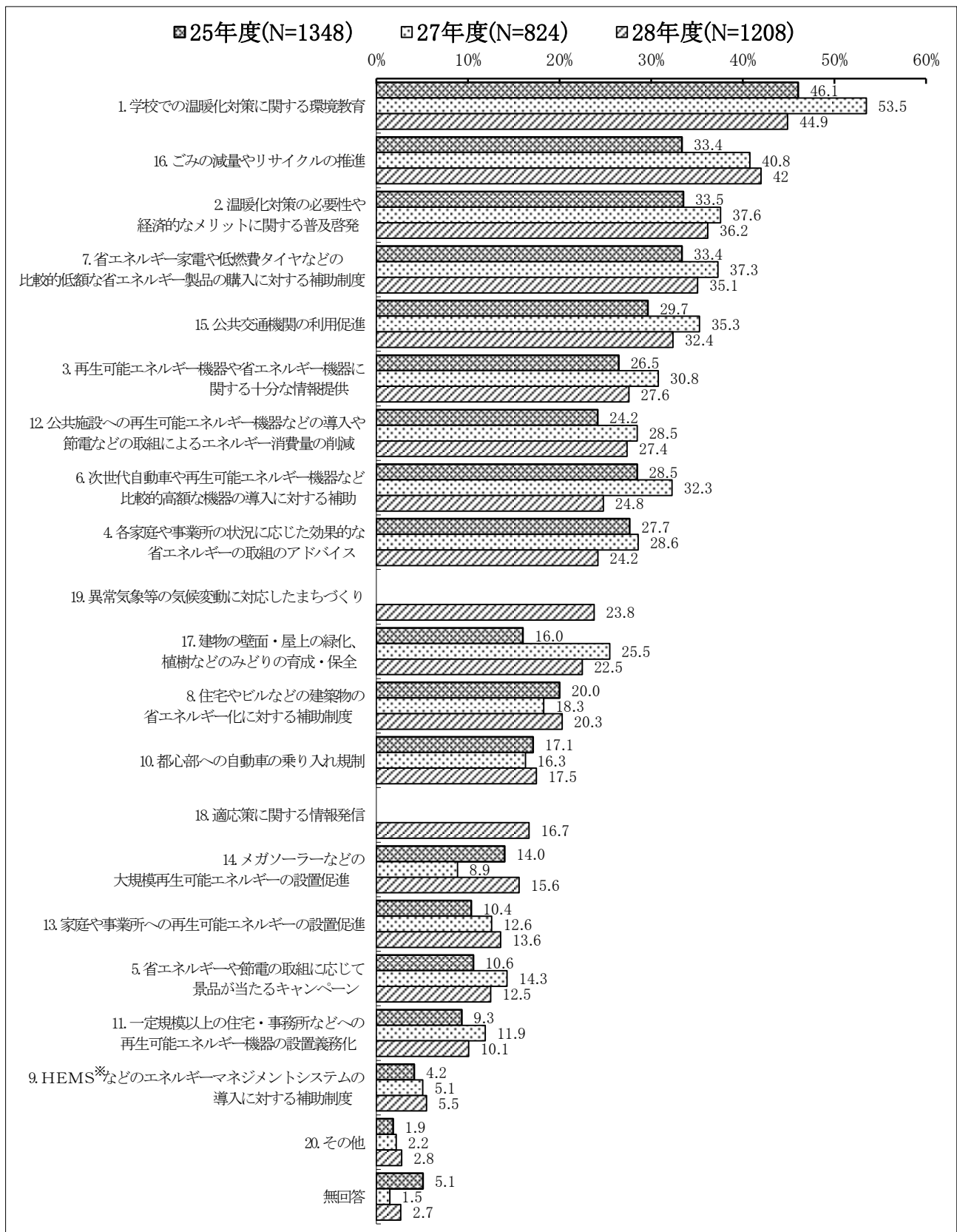
『建築物環境配慮制度（CASBEE札幌）』について、「名前・内容とも知っている」が1.3%と、25年の0.3%から1ポイント増加している。

一方、「名前だけは知っている」が4.4%と27年度よりも0.5ポイント増加しているものの、25年度から大きな変化は見られない。

『建築物環境配慮制度（CASBEE札幌）』について、「名前・内容とも知っている」と「名前だけは知っている」を合わせた“知っている”は25年度から0.9ポイント増加し5.7%となったものの、依然として認知度は低くなっている。

■札幌市が今後重点的に取り組むべき温暖化対策

問9 札幌市が、今後重点的に取り組むべき温暖化対策について、次の中から、5つまで○をつけてください。



※HEMS（ホーム・エネルギー・マネジメント・システム）：家庭でエネルギーを消費する機器をネットワークでつなぎ、稼働状況やエネルギー消費量を見える化するとともに、自動制御して効率化を図る機器

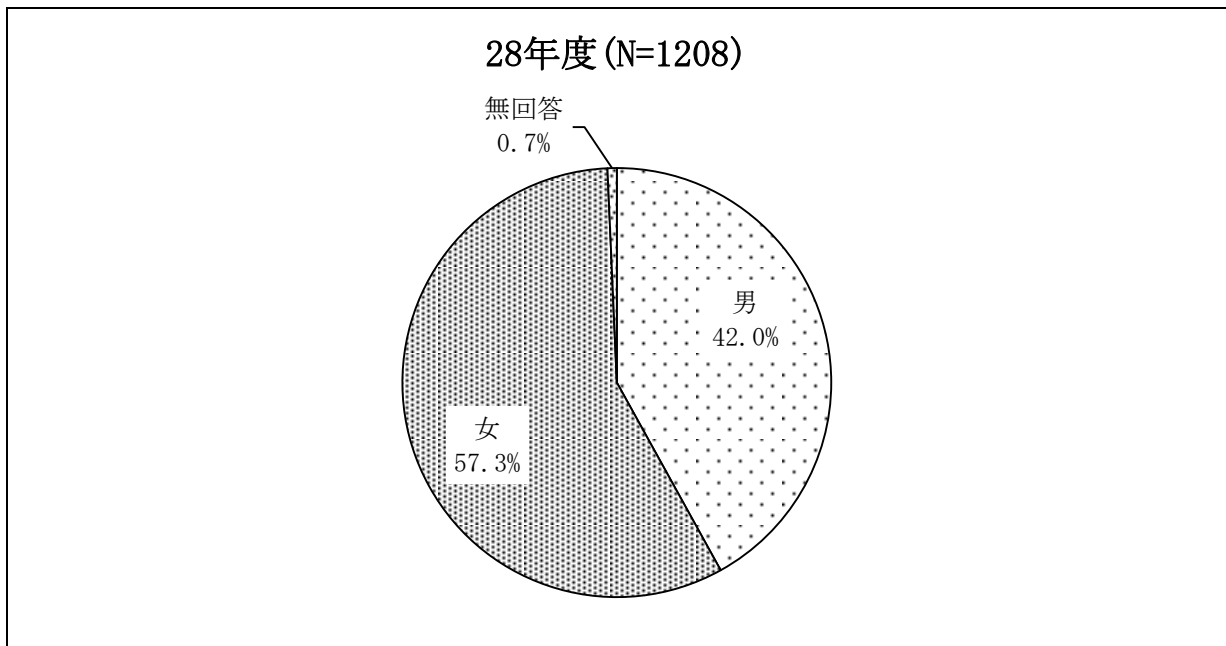
※18.19は28年度からの新項目

札幌市が、今後重点的に取り組むべき温暖化対策については、「学校での温暖化対策に関する環境教育」が44.9%と最も高くなっている。次いで、「ごみの減量やリサイクルの推進」が42%、「温暖化対策の必要性や経済的なメリットに関する普及啓発」が36.2%、「省エネルギー家電や低燃費タイヤなどの比較的低額な省エネルギー製品の購入に対する補助制度」が35.1%となっている。また28年度より新項目の「異常気象等の気候変動に対応したまちづくり」が23.8%、「適応策に関する情報発信」は16.7%となっている。

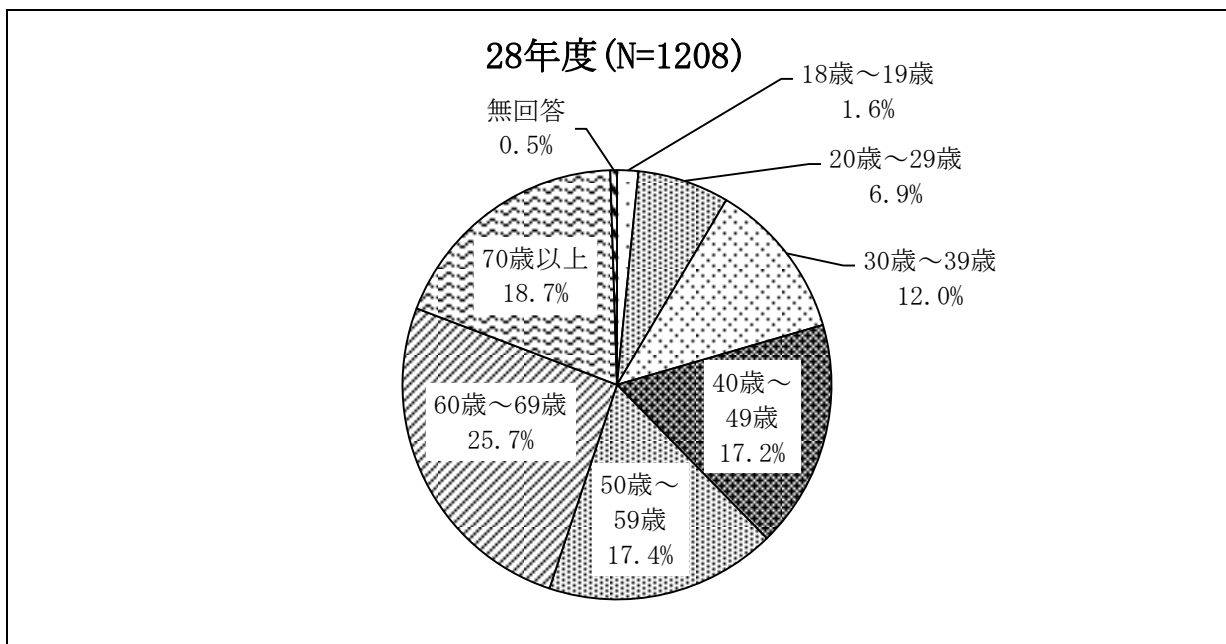
各項目の割合は27年度より低い傾向にあるが、「ごみの減量やリサイクルの推進」や「目がソーラーなどの大規模再生可能エネルギーの設置促進」等、増加している項目もみられる。

札幌市が、今後重点的に取り組むべき温暖化対策については、「学校での温暖化対策に関する環境教育」が44.9%。

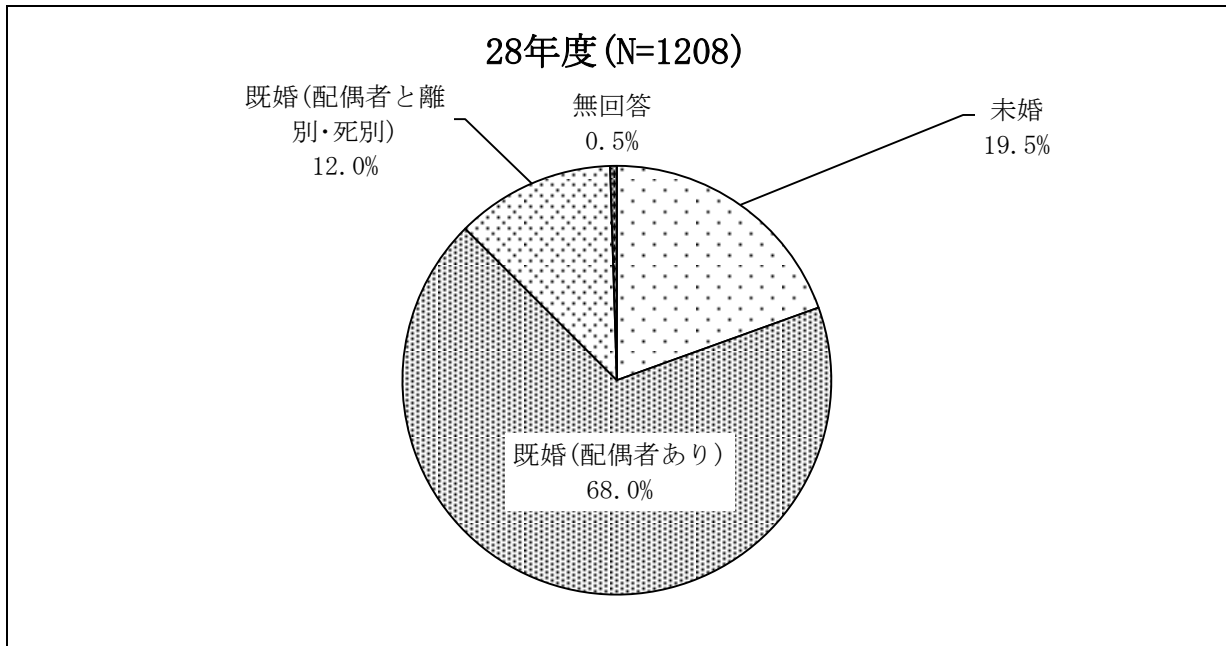
F 1 【性別】 あなたの性別をお答えください。



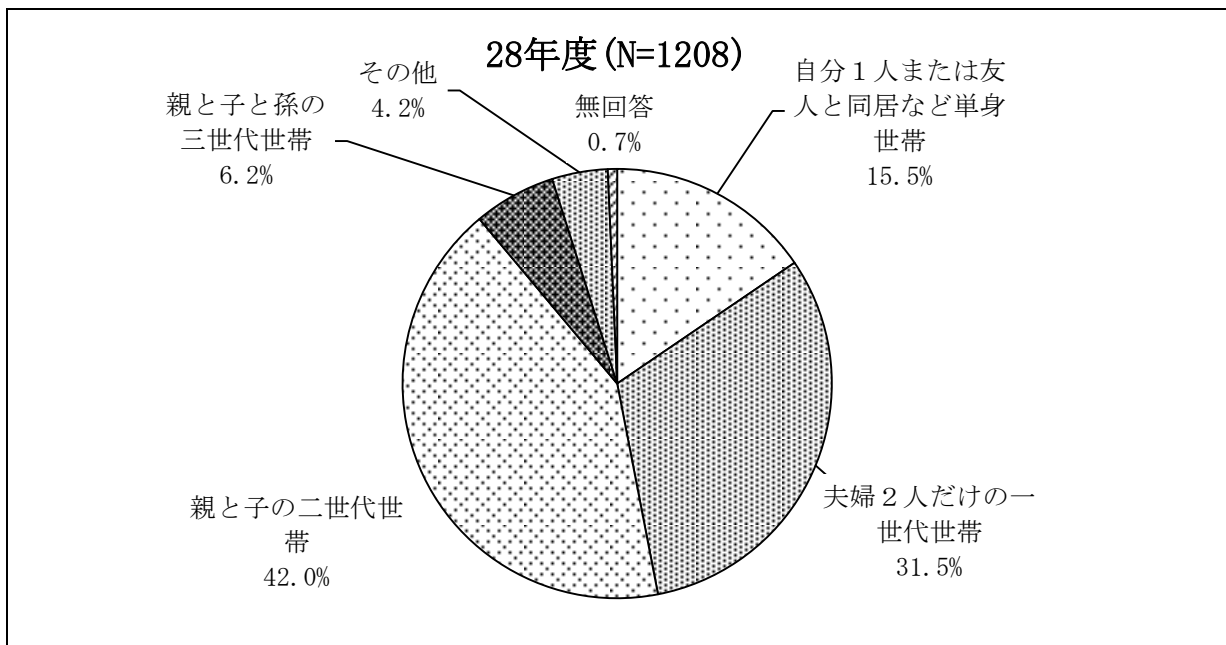
F 2 【年 齢】 あなたの年齢は、おいくつですか。(平成 28 年 1 月 1 日現在)



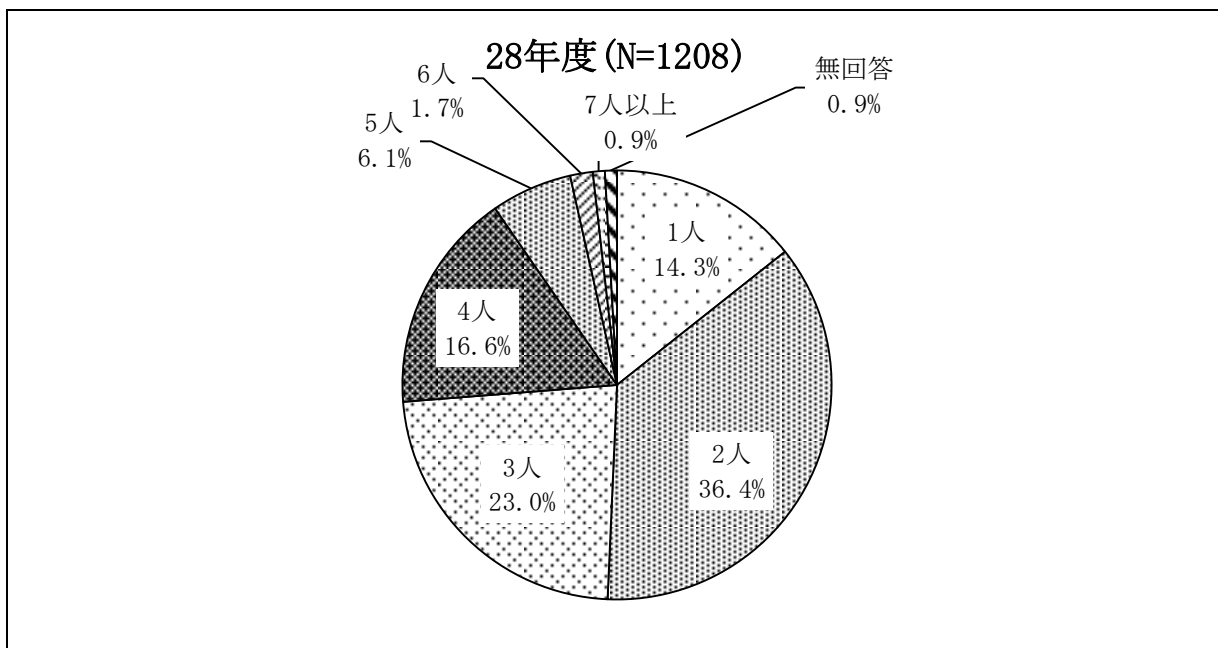
F 3 【既婚・未婚】あなたは、結婚していますか。



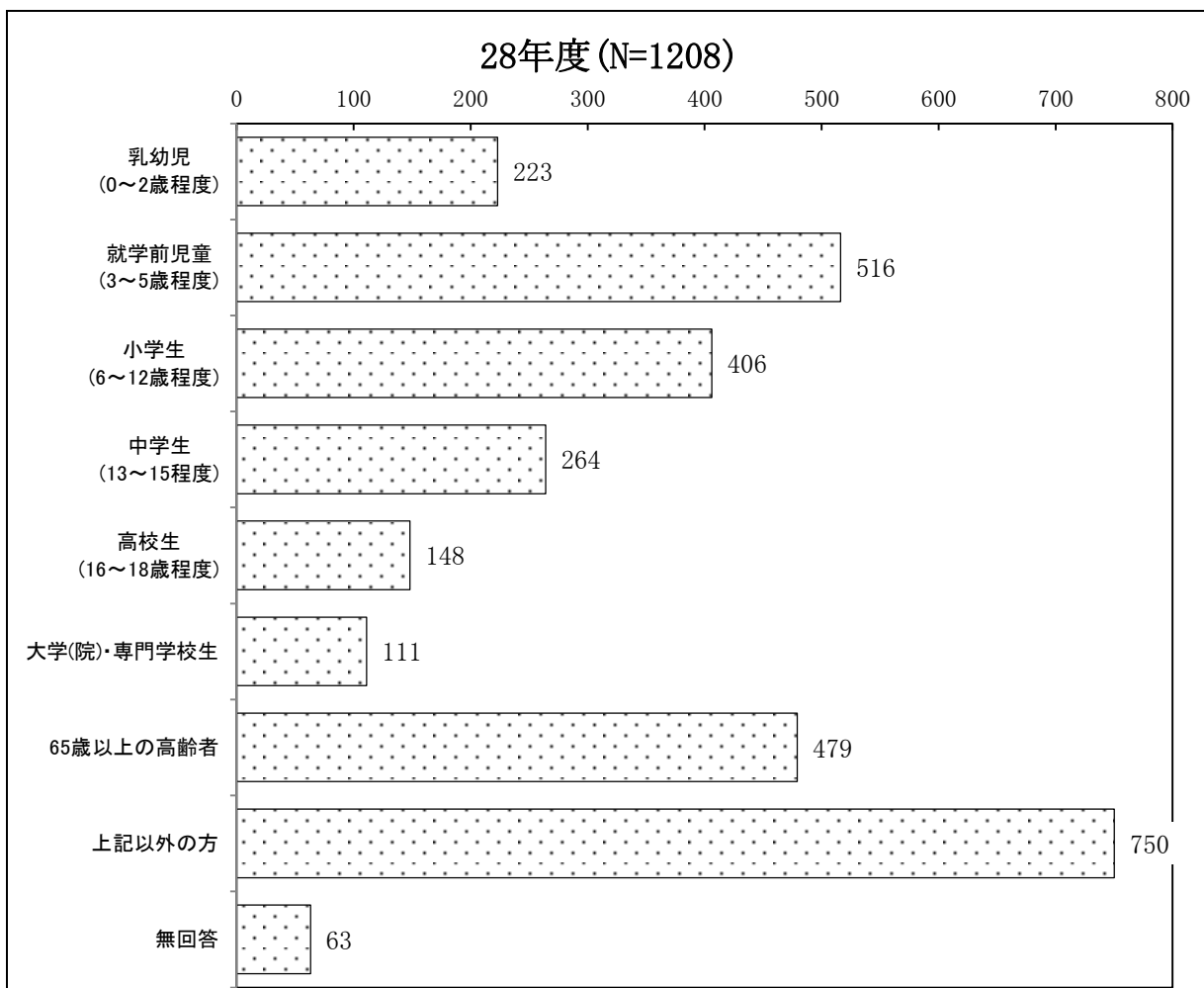
F 4 【世帯形態】あなたのご家庭は、どういう形態ですか。



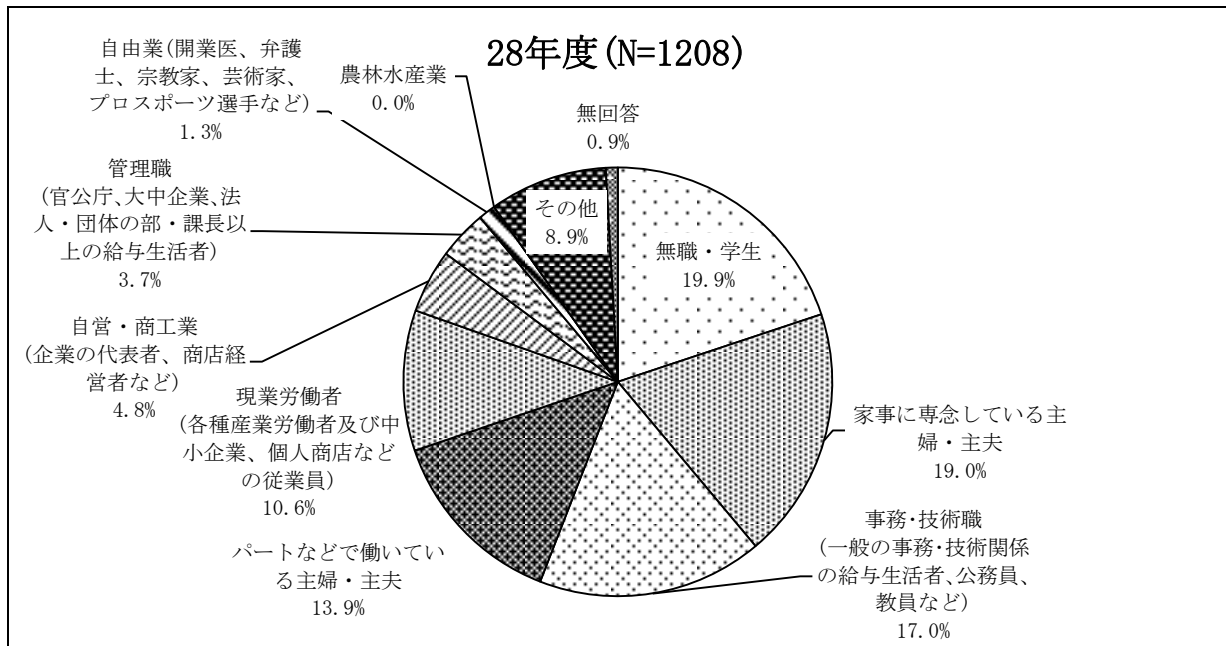
F 5 【家族人数】あなたのご家族（同居）は、あなたを含めて何人ですか。



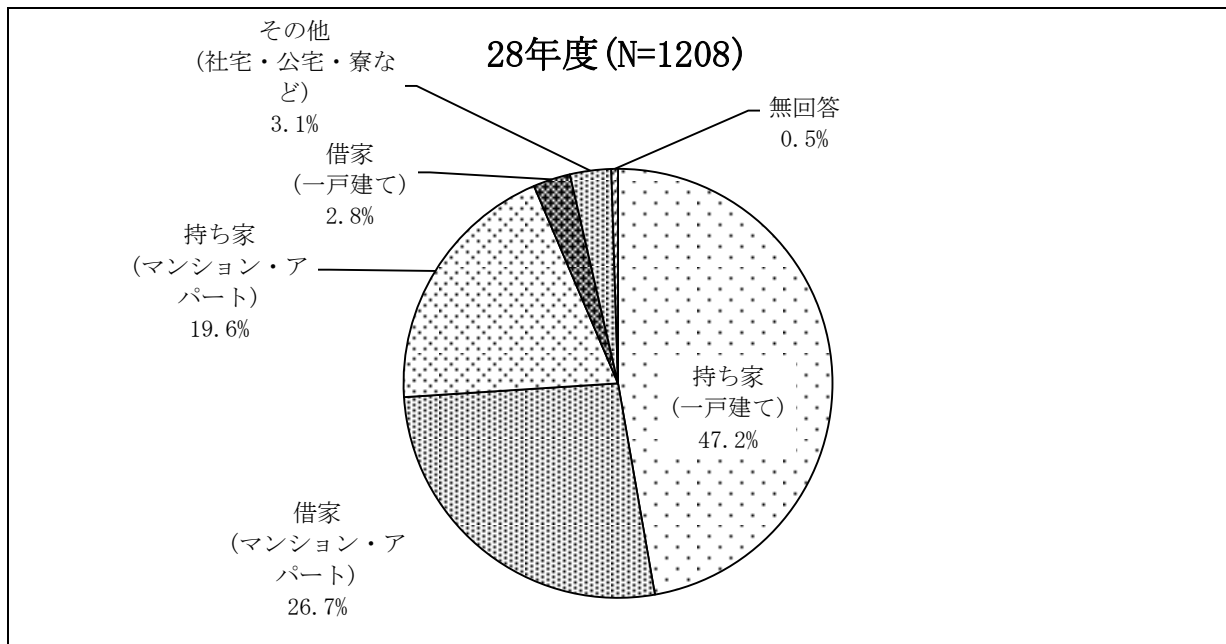
F 6 【家族構成】あなたのご家族（同居）は、どういう構成ですか。
あなたを含めて、次の中から、あてはまる方すべてに○をつけてください。



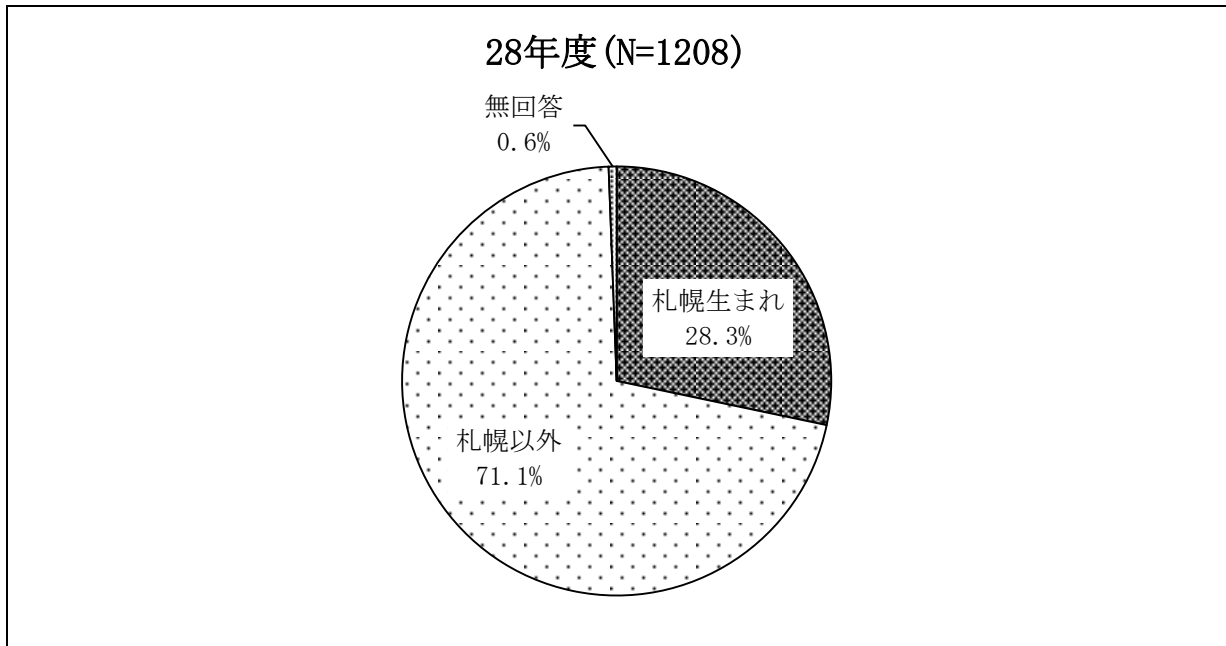
F 7 【職 業】あなたの職業は、次のどれにあたりますか。
あてはまるものに1つ○をつけてください。



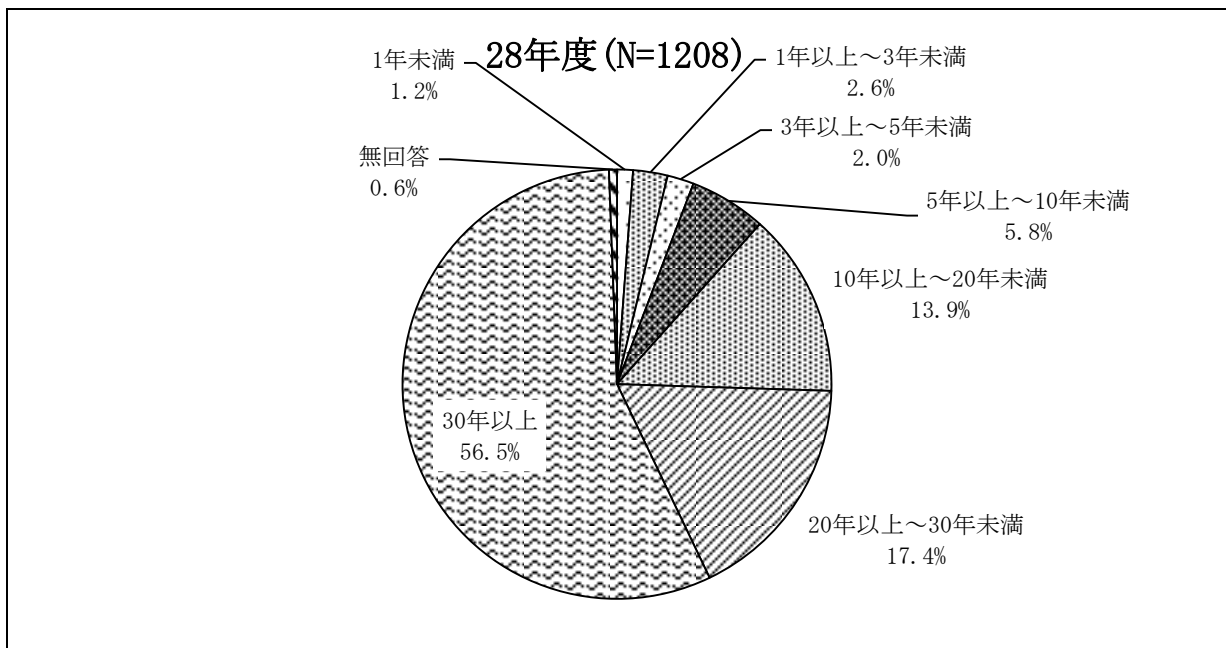
F 8 【住居形態】あなたは、現在どのような家にお住まいですか。



F 9 【出生地】あなたは、札幌生まれですか。



F 10 【札幌居住年数】あなたは、札幌に通算何年ぐらい住んでいますか。



F 1 1 【現在地居住年数】あなたは、今の場所に何年ぐらい住んでいますか。

